

# 平成30年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査 調査結果の概要2（公立学校分）

## 目次

1	暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 1
2	いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会）	・・・ 7
3	長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）	・・・ 14
4	長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）	・・・ 23
5	中途退学者等の状況（公立高等学校）	・・・ 31
6	自殺の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 34
7	出席停止の状況（公立小・中学校）	・・・ 35
8	教育相談の状況（県・市町村教育委員会）	・・・ 36
*	中学校には中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む	

令和元年10月  
神奈川県教育委員会

## 1 暴力行為の状況【公立小・中・高等学校】

## (1-1)暴力行為の発生状況

## ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数 (校)	学校の管理下				学校の管理下以外				計	
		発生学校 数(校)	発生学校 数の割合 (%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	発生学校 数(校)	発生学校 数の割合 (%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	856	533	62.3	5,841	4,659	154	18.0	329	386	6,170	5,045
中学校	415	337	81.2	3,169	2,786	76	18.3	108	111	3,277	2,897
高等学校	159	118	74.2	538	599	14	8.8	22	32	560	631
計	1,430	988	69.1	9,548	8,044	244	17.1	459	529	10,007	8,573

## イ 対教師暴力

区分	学校総数 (校)	学校の管理下					学校の管理下以外					計	
		発生学校 数(校)	発生学校 数の割合 (%)	発生件数(件)	加害児童・ 生徒数(人)	被害教師 数(人)	発生学校 数(校)	発生学校 数の割合 (%)	発生件数(件)	加害児童・ 生徒数(人)	被害教師 数(人)	発生件数 (件)	加害児童 ・生徒数 (人)
小学校	856	214	25.0	646	372	472	0	0.0	0	0	0	646	372
中学校	415	113	27.2	265	186	247	0	0.0	0	0	0	265	186
高等学校	159	34	21.4	51	51	48	0	0.0	0	0	0	51	51
計	1,430	361	25.2	962	609	767	0	0.0	0	0	0	962	609

## ウ 生徒間暴力

区分	学校総数 (校)	学校の管理下					学校の管理下以外					計	
		発生学校 数(校)	発生学校 数の割合 (%)	発生件数(件)	加害児童・ 生徒数(人)	被害児童・ 生徒数(人)	発生学校 数(校)	発生学校 数の割合 (%)	発生件数(件)	加害児童・ 生徒数(人)	被害児童・ 生徒数(人)	発生件数 (件)	加害児童 ・生徒数 (人)
小学校	856	468	54.7	4,435	3,953	4,436	146	17.1	307	359	351	4,742	4,312
中学校	415	315	75.9	2,289	2,321	2,203	62	14.9	88	94	90	2,377	2,415
高等学校	159	95	59.7	288	374	314	12	7.5	17	26	19	305	400
計	1,430	878	61.4	7,012	6,648	6,953	220	15.4	412	479	460	7,424	7,127

## エ 対人暴力

区分	学校総数 (校)	学校の管理下					学校の管理下以外					計	
		発生学校 数(校)	発生学校 数の割合 (%)	発生件数(件)	加害児童・ 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生学校 数(校)	発生学校 数の割合 (%)	発生件数(件)	加害児童・ 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生件数 (件)	加害児童 ・生徒数 (人)
小学校	856	15	1.8	30	30	33	13	1.5	22	23	19	52	53
中学校	415	4	1.0	7	5	7	19	4.6	20	18	18	27	23
高等学校	159	4	2.5	5	7	20	4	2.5	5	6	6	10	13
計	1,430	23	1.6	42	42	60	36	2.5	47	47	43	89	89

オ 器物損壊

区分	学校総数(校)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)
小学校	856	272	31.8	730	760
中学校	415	189	45.5	608	596
高等学校	159	77	48.4	194	232
計	1,430	538	37.6	1,532	1,588

※ア～オともに

(注1)学校総数は、平成30年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。高等学校の学校数は、全日制、定時制、通信制、併置校及び中等教育学校後期課程の合計数。

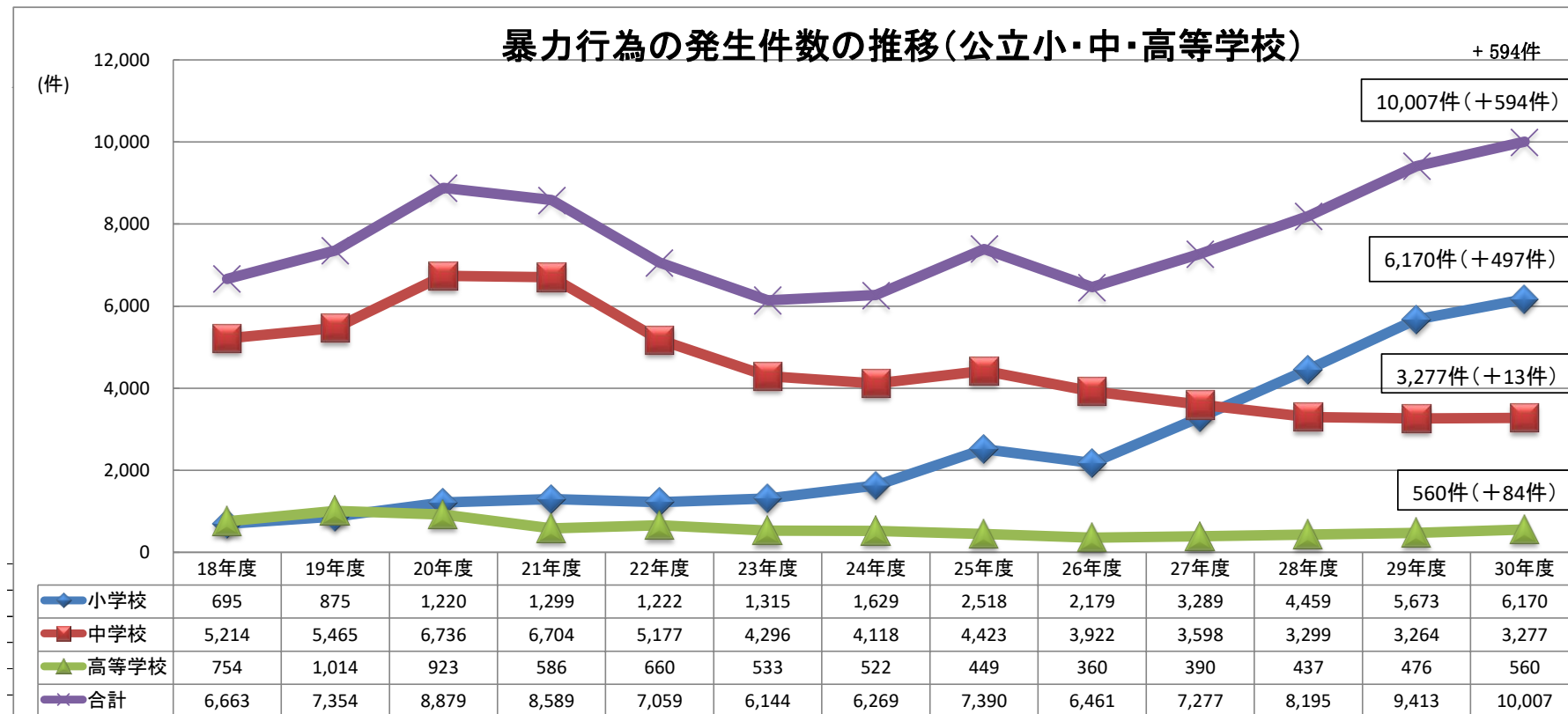
(注2)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害児童・生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。

(注3)「合計」欄の発生学校数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。

(注4)「合計」欄の加害児童・生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに、1人の加害児童・生徒が複数の形態の加害児童・生徒として計上されている場合、実数(1人)として扱っているため、(1-2)学年別・男女別加害児童・生徒数の数値と一致しない。

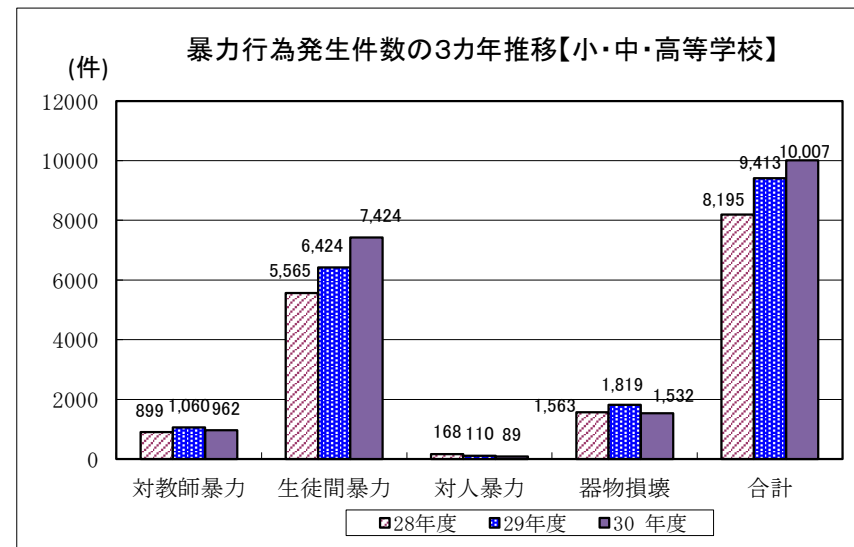
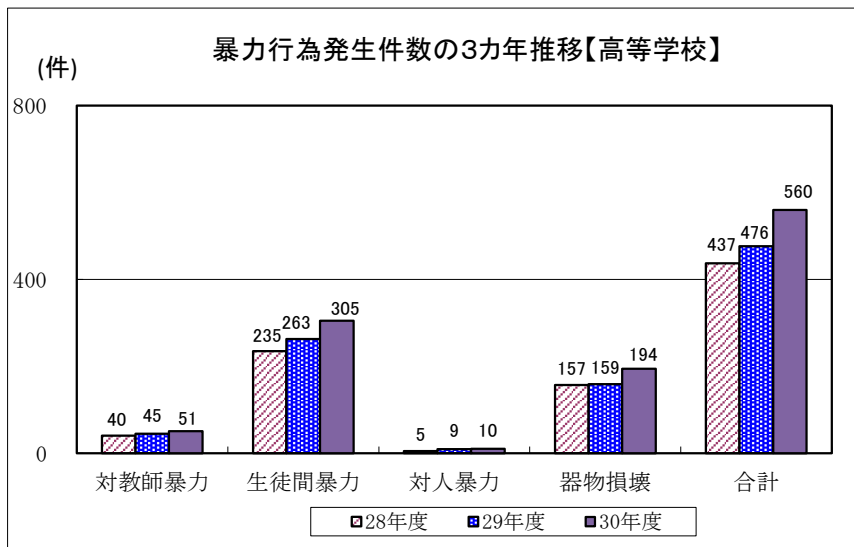
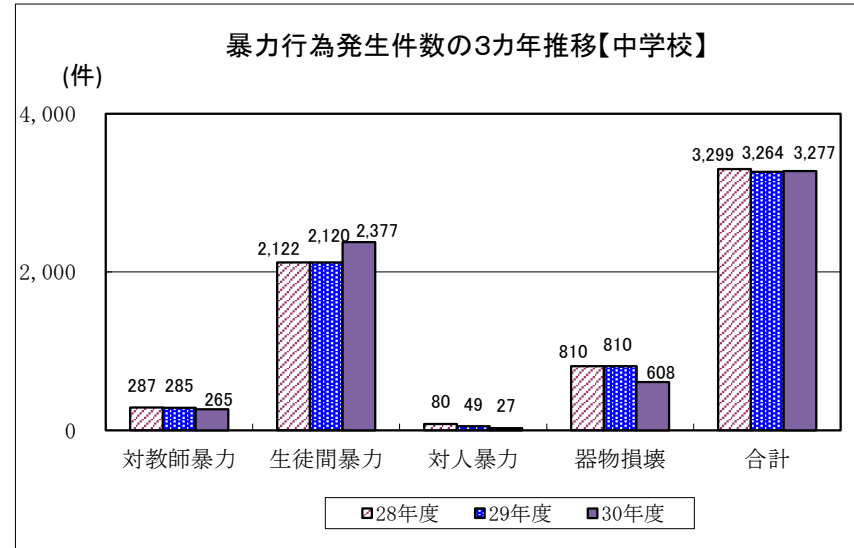
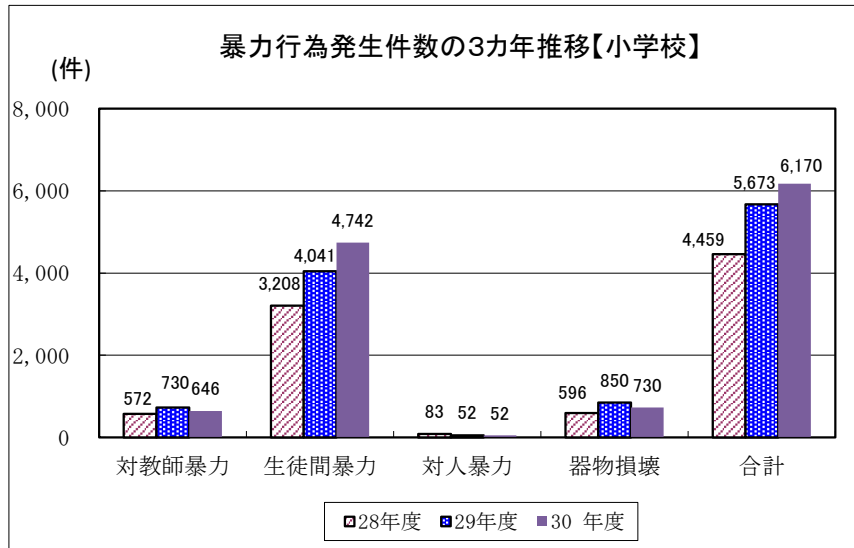
(参考1)

暴力行為の発生件数の推移



(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2)学年別・男女別加害児童・生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3・4年生	計	
男子	580	660	892	939	951	994	5,016	1,279	1,084	722	3,085	301	215	113	629	8,730
女子	84	66	88	88	86	69	481	75	30	30	135	40	14	13	67	683
計	664	726	980	1,027	1,037	1,063	5,497	1,354	1,114	752	3,220	341	229	126	696	9,413

(注)人数は、(1-1)暴力行為の発生状況の「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」に計上された加害児童・生徒数の数値を合計したものと一致し、延べ人数となり、実人数ではない。

(1-3)加害児童・生徒に対する学校の措置別人数

区分	退学・転学						停学		出席停止		自宅学習 自宅謹慎等		訓告		計						
	懲戒退学			その他			学校		学校		学校		学校		学校		小計				
	学校		小計	学校		小計	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	小計				
	内	外		内	外																
小学校	—	—	—	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	
中学校	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	
高等学校	0	0	0	42	7	49	0	0	0	—	—	—	273	9	282	0	0	0	315	16	331

(注1)「退学・転学」中のその他とは、勸奨・申出による退学及び転学である。

(注2)「訓告」とは、校長が学校教育法施行規則第26条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったものであり、事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等は含まれない。

(1-4)加害児童・生徒に対する関係機関の措置別人数

区分	警察の補導 <small>(家庭裁判所送致等されず、警察 限りで処理されたもの)</small>			家庭裁判所 <small>(不処分、審判不開始を含む)</small>			少年刑務所			少年院			保護観察			児童自立支援 施設			児童相談所			計		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	15	11	26	1	0	1	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	9	23	30	20	50
中学校	20	8	28	9	0	9	—	—	—	2	2	4	3	1	4	1	2	3	11	3	14	46	16	62
高等学校	4	1	5	3	1	4	0	0	0	1	1	2	2	2	4	0	0	0	2	0	2	12	5	17

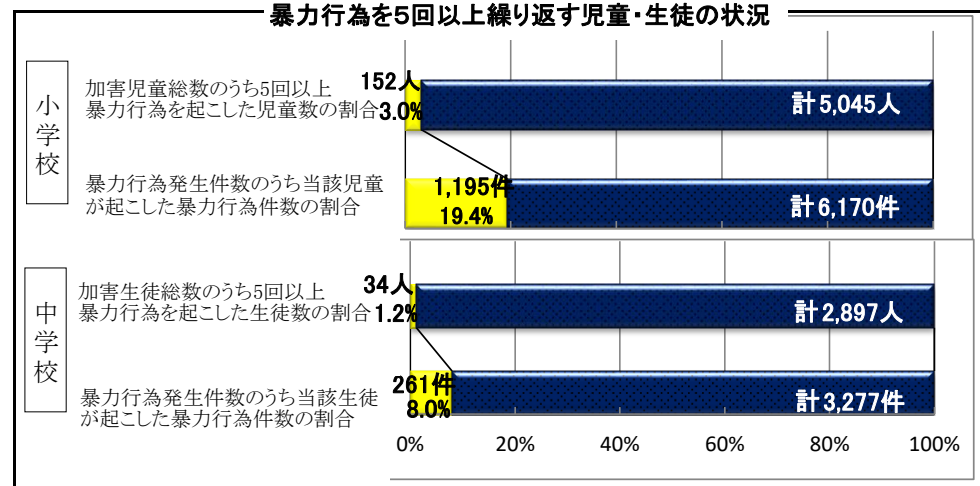
(注1)最終的な措置が確定している場合は該当する措置、最終的な措置が確定していない場合は年度末現在の状況を計上。

(注2)少年鑑別所に送致・収容のケースについては、家庭裁判所の欄に計上。

(1-5) 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒の状況

ア 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒数等

		小学校	中学校
該当児童・生徒数		152人	34人
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数		1,195件	261件
内訳	対教師暴力	353件	73件
	生徒間暴力	710件	158件
	対人暴力	29件	1件
	器物損壊	103件	29件
加害児童・生徒数のうち該当児童・生徒の割合		3.0%	1.2%
(再掲)各区分における加害児童・生徒数		5,045人	2,897人
暴力発生件数のうち該当児童・生徒が起こした割合		19.4%	8.0%
(再掲)暴力行為発生件数		6,170件	3,277件



(参考)

【小学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	23	2	14	0	27	1	26	0	24	2	32	1	146	6	152	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	164	36	120	0	242	6	209	0	169	13	231	5	1,135	60	1,195	
内訳	対教師暴力	29	31	20	0	68	6	65	0	46	12	74	2	302	51	353
	生徒間暴力	126	5	94	0	148	0	130	0	95	1	111	0	704	6	710
	対人暴力	6	0	0	0	14	0	0	0	0	0	7	2	27	2	29
	器物損壊	3	0	6	0	12	0	14	0	28	0	39	1	102	1	103

【中学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	10	0	14	0	9	1	33	1	34	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	86	0	104	0	63	8	253	8	261	
内訳	対教師暴力	6	0	39	0	24	4	69	4	73
	生徒間暴力	73	0	52	0	33	0	158	0	158
	対人暴力	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	器物損壊	7	0	12	0	6	4	25	4	29

## イ 繰り返し暴力を起こす理由として考えられる要因

		小学校		中学校		計	
		回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
本人の問題	① 本人に粗暴的な性格が見受けられる	134	88.2	32	94.1	166	89.2
	② 本人の規範意識が低いと思われる	112	73.7	31	91.2	143	76.9
家庭の問題	③ 養育放棄(ネグレクト)が背景にあるように思われる	27	17.8	12	35.3	39	21.0
	④ ネグレクト以外の児童虐待が背景にあるように思われる	31	20.4	5	14.7	36	19.4
	⑤ 家族関係のなかでのストレスや葛藤がある	86	56.6	14	41.2	100	53.8
学校の問題	⑥ 友達との人間関係をうまく構築できない	117	77.0	18	52.9	135	72.6
	⑦ 教員との信頼関係が崩れたからだと思われる	34	22.4	8	23.5	42	22.6
	⑧ 校内での非行グループ化が背景にある	7	4.6	4	11.8	11	5.9
	⑨ 卒業生や校外の非行グループとの繋がりが背景にある	2	1.3	9	26.5	11	5.9
	⑩ 授業を理解できないことが原因と思われる	53	34.9	15	44.1	68	36.6
その他	⑪ その他	35	23.0	5	14.7	40	21.5

(注1)複数回答のため、回答数の合計は該当児童・生徒数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における加害児童・生徒数に対する割合。

5回以上該当者数	小学校	152	中学校	34	合計	186
----------	-----	-----	-----	----	----	-----

## 2 いじめの状況【公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会】

### (2-1)いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A×100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数:C/A(件)	認知していない 学校数:D(校)	比率: D/A×100(%)
小学校	856	849	99.2	20,155	23.5	7	0.8
中学校	415	407	98.1	4,661	11.2	8	1.9
高等学校	185	90	48.6	230	1.2	95	51.4
特別支援学校	47	21	44.7	60	1.3	26	55.3
計	1,503	1,367	91.0	25,106	16.7	136	9.0

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係のある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が、心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報する必要があるものが含まれる。これらについては、教育的配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応が求められる必要がある。（注2）学校総数は、高等学校の全定併置校や通信制併設校等を全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

### (2-2)いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校			
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
男子	1,726	1,995	2,120	2,076	2,067	1,776	11,760	1,306	894	403	2,603	46	40	16	102
女子	1,298	1,364	1,418	1,503	1,524	1,288	8,395	941	762	355	2,058	74	36	18	128
計	3,024	3,359	3,538	3,579	3,591	3,064	20,155	2,247	1,656	758	4,661	120	76	34	230

区分	特別支援学校															計	合計
	小学部							中学部				高等部					
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
男子	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	11	11	10	32	33	14,498
女子	0	0	1	0	0	0	1	1	3	0	4	11	9	2	22	27	10,608
計	0	0	2	0	0	0	2	1	3	0	4	22	20	12	54	60	25,106

### (2-3)警察に相談・通報した校数・件数

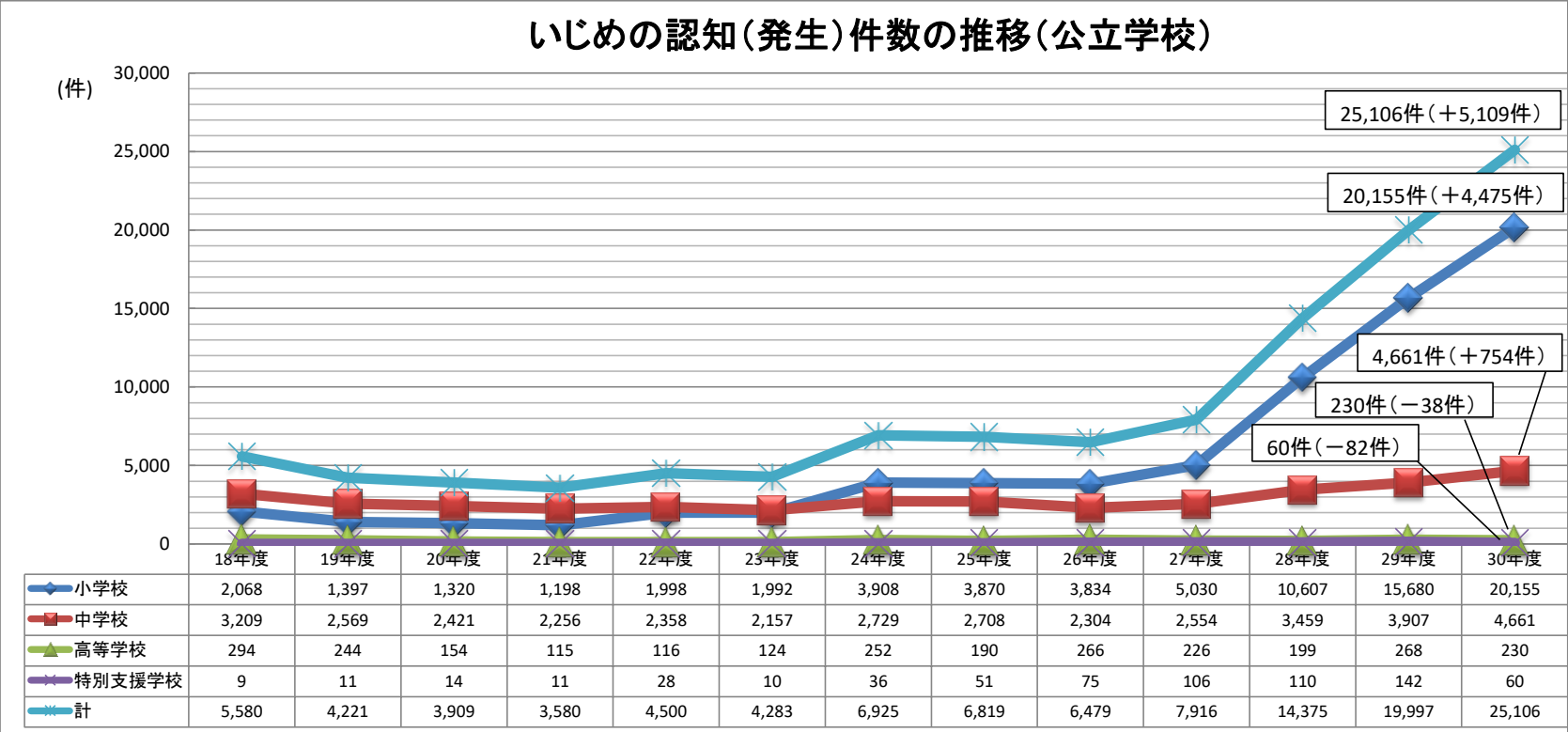
区分	いじめを認知した学校数			いじめの認知件数		
	(単位:校)	うち、警察に相談・通報した学校数 (単位:校)	警察に相談・通報した学校の割合 (単位:%)	(単位:件)	うち、警察に相談・通報した件数 (単位:件)	警察に相談・通報した件数の割合 (単位:%)
小学校	849	22	2.6	20,155	24	0.1
中学校	407	36	8.8	4,661	41	0.9
高等学校	90	4	4.4	230	4	1.7
特別支援学校	21	2	9.5	60	4	6.7
計	1,367	64	4.7	25,106	73	0.3

(注1)「うち、警察に相談・通報した学校数(単位:校)」は、平成30年度間において、1件以上のいじめについて警察に相談・通報した場合1校とする。

(注2)「うち、警察に相談・通報した件数(単位:件)」は、「認知件数(単位:件)」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。



(参考)  
いじめの認知(発生)件数の推移



(2-4-①)いじめの状況(平成31年3月31日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	15,346	76.1	4,738	23.5	71	0.4	20,155	100.0
中学校	3,576	76.7	1,069	22.9	16	0.3	4,661	100.0
高等学校	193	83.9	24	10.4	13	5.7	230	100.0
特別支援学校	44	73.3	14	23.3	2	3.3	60	100.0
計	19,159	76.3	5,845	23.3	102	0.4	25,106	100.0

(2-4-②)いじめの現在の状況(令和元年7月19日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	18,706	92.8	1,356	6.7	93	0.5	20,155	100.0
中学校	4,220	90.5	423	9.1	18	0.4	4,661	100.0
高等学校	209	90.9	8	3.5	13	5.7	230	100.0
特別支援学校	49	81.7	9	15.0	2	3.3	60	100.0
計	23,181	92.3	1,799	7.2	126	0.5	25,106	100.0

## (2-5)いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	10,447	51.8	1,754	37.6	104	45.2	18	30.0	12,323	49.1
学級担任が発見	3,589	17.8	659	14.1	22	9.6	12	20.0	4,282	17.1
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	346	1.7	381	8.2	12	5.2	5	8.3	744	3.0
養護教諭が発見	72	0.4	43	0.9	2	0.9	1	1.7	118	0.5
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	16	0.1	18	0.4	0	0.0	0	0.0	34	0.1
アンケート調査など学校の取組により発見	6,424	31.9	653	14.0	68	29.6	0	0.0	7,145	28.5
学校の教職員等以外からの情報により発見	9,708	48.2	2,907	62.4	126	54.8	42	70.0	12,783	50.9
本人からの訴え	5,129	25.4	1,737	37.3	88	38.3	26	43.3	6,980	27.8
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	3,366	16.7	820	17.6	19	8.3	12	20.0	4,217	16.8
児童・生徒(本人を除く)からの情報	772	3.8	264	5.7	14	6.1	3	5.0	1,053	4.2
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	382	1.9	70	1.5	4	1.7	0	0.0	456	1.8
地域住民からの情報	23	0.1	8	0.2	0	0.0	0	0.0	31	0.1
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	27	0.1	7	0.2	0	0.0	1	1.7	35	0.1
その他(匿名による投書など)	9	0.0	1	0.0	1	0.4	0	0.0	11	0.0
計	20,155	100	4,661	100	230	100	60	100	25,106	100

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するもの一つ選択している。

## (2-6)いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	16,635	82.5	3,280	70.4	144	62.6	30	50.0	20,089	80.0
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	1,848	9.2	1,129	24.2	61	26.5	22	36.7	3,060	12.2
養護教諭に相談	511	2.5	268	5.7	47	20.4	4	6.7	830	3.3
スクールカウンセラー等の相談員に相談	352	1.7	194	4.2	17	7.4	1	1.7	564	2.2
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	104	0.5	48	1.0	4	1.7	1	1.7	157	0.6
保護者や家族等に相談	5,971	29.6	1,384	29.7	62	27.0	19	31.7	7,436	29.6
友人に相談	1,269	6.3	374	8.0	42	18.3	2	3.3	1,687	6.7
その他(地域の人など)	62	0.3	10	0.2	1	0.4	1	1.7	74	0.3
誰にも相談していない	643	3.2	308	6.6	25	10.9	4	6.7	980	3.9
いじめの認知件数	20,155		4,661		230		60		25,106	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-7)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	11,592	57.5	2,923	62.7	139	60.4	29	48.3	14,683	58.5
仲間はずれ、集団による無視をされる	2,290	11.4	569	12.2	43	18.7	7	11.7	2,909	11.6
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	3,998	19.8	512	11.0	26	11.3	6	10.0	4,542	18.1
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	884	4.4	137	2.9	11	4.8	3	5.0	1,035	4.1
金品をたかられる	127	0.6	55	1.2	6	2.6	4	6.7	192	0.8
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	1,230	6.1	272	5.8	13	5.7	4	6.7	1,519	6.1
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	1,804	9.0	313	6.7	27	11.7	6	10.0	2,150	8.6
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	308	1.5	460	9.9	62	27.0	8	13.3	838	3.3
その他	622	3.1	109	2.3	14	6.1	1	1.7	746	3.0
いじめの認知件数	20,155		4,661		230		60		25,106	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-8)いじめる児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った	301	1.5	156	3.3	15	6.5	2	3.3	474	1.9	
校長、教頭が指導した	714	3.5	57	1.2	67	29.1	4	6.7	842	3.4	
別室指導した	1,901	9.4	862	18.5	76	33.0	13	21.7	2,852	11.4	
学級替えをした	0	0.0	0	0.0	3	1.3	0	0.0	3	0.0	
退学 転学	懲戒処分としての退学	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	0	0.0	1	0.0	10	4.3	0	0.0	11	0.0
停学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	0	0.0	
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	41	17.8	2	3.3	43	0.2	
訓告	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
保護者への報告	9,904	49.1	3,504	75.2	92	40.0	32	53.3	13,532	53.9	
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	9,476	47.0	2,764	59.3	105	45.7	37	61.7	12,382	49.3	
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	26	0.1	38	0.8	4	1.7	1	1.7	69	0.3
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	55	0.3	13	0.3	0	0.0	3	5.0	71	0.3
	ウ 病院等の医療機関等との連携	41	0.2	17	0.4	0	0.0	3	5.0	61	0.2
	エ その他の専門的な関係機関等との連携	65	0.3	18	0.4	7	3.0	2	3.3	92	0.4
	オ 地域の人材や団体等との連携	18	0.1	2	0.0	0	0.0	1	1.7	21	0.1
いじめの認知件数	20,155		4,661		230		60		25,106		

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-9)いじめられた児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った	422	2.1	353	7.6	52	22.6	4	6.7	831	3.3
別室を提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した	730	3.6	524	11.2	43	18.7	17	28.3	1,314	5.2
緊急避難として欠席させた	17	0.1	9	0.2	9	3.9	0	0.0	35	0.1
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	692	3.4	1,113	23.9	17	7.4	3	5.0	1,825	7.3
学級替えをした	0	0.0	0	0.0	2	0.9	0	0.0	2	0.0
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した	291	1.4	161	3.5	16	7.0	2	3.3	470	1.9
児童相談所等の関係機関と連携して対応した(サポートチームなども含む)	83	0.4	66	1.4	1	0.4	2	3.3	152	0.6
いじめの認知件数	20,155		4,661		230		60		25,106	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

## (2-10)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じて、いじめの問題に関して教職員間で共通理解を図った	856	100.0	415	100.0	168	90.8	43	91.5	1,482	98.6
いじめの問題に関する校内研修会を実施した	745	87.0	353	85.1	88	47.6	27	57.4	1,213	80.7
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	854	99.8	409	98.6	95	51.4	31	66.0	1,389	92.4
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした	762	89.0	383	92.3	86	46.5	26	55.3	1,257	83.6
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った	829	96.8	385	92.8	172	93.0	32	68.1	1,418	94.3
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	798	93.2	383	92.3	148	80.0	31	66.0	1,360	90.5
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民の理解を得るよう努めた	814	95.1	393	94.7	130	70.3	38	80.9	1,375	91.5
P T Aなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	561	65.5	273	65.8	23	12.4	7	14.9	864	57.5
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った	523	61.1	238	57.3	38	20.5	8	17.0	807	53.7
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対応のための啓発活動を実施した	779	91.0	379	91.3	142	76.8	28	59.6	1,328	88.4
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った	823	96.1	400	96.4	144	77.8	40	85.1	1,407	93.6
いじめ防止対策推進法第22条に基づく、いじめ防止等の対策のための組織を招集した。	762	89.0	367	88.4	112	60.5	39	83.0	1,280	85.2
学校総数	856		415		185		47		1,503	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

## (2-11)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法

## 【いじめを認知した学校】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	
アンケート調査の実施	849	100.0	407	100.0	90	100.0	18	85.7	1,364	99.8	
実施頻度	ア 年1回	24	2.8	8	2.0	14	15.6	7	33.3	53	3.9
	イ 年2～3回	706	83.2	247	60.7	74	82.2	11	52.4	1,038	75.9
	ウ 年4回以上	119	14.0	152	37.3	2	2.2	0	0.0	273	20.0
調査方法	ア 記名式	583	68.7	305	74.9	48	53.3	6	28.6	942	68.9
	イ 無記名式	408	48.1	198	48.6	26	28.9	7	33.3	639	46.7
	ウ 記名・無記名の選択式	63	7.4	57	14.0	23	25.6	4	19.0	147	10.8
回答方法	ア 選択式(学校で記入)	756	89.0	362	88.9	61	67.8	14	66.7	1,193	87.3
	イ 選択式(持ち帰って記入)	6	0.7	14	3.4	9	10.0	2	9.5	31	2.3
	ウ 記述式(学校で記入)	530	62.4	286	70.3	45	50.0	6	28.6	867	63.4
	エ 記述式(持ち帰って記入)	3	0.4	15	3.7	11	12.2	1	4.8	30	2.2
個別面談の実施	786	92.6	399	98.0	81	90.0	15	71.4	1,281	93.7	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	384	45.2	209	51.4	9	10.0	5	23.8	607	44.4	
家庭訪問	585	68.9	312	76.7	12	13.3	3	14.3	912	66.7	
その他	48	5.7	23	5.7	7	7.8	1	4.8	79	5.8	
いじめを認知した学校数	849		407		90		21		1,367		

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

## 【いじめを認知していない学校】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	
アンケート調査の実施	6	85.7	7	87.5	95	100.0	19	73.1	127	93.4	
実施頻度	ア 年1回	0	0.0	0	0.0	13	13.7	6	23.1	19	14.0
	イ 年2～3回	5	71.4	7	87.5	81	85.3	13	50.0	106	77.9
	ウ 年4回以上	1	14.3	0	0.0	1	1.1	0	0.0	2	1.5
調査方法	ア 記名式	3	42.9	4	50.0	44	46.3	8	30.8	59	43.4
	イ 無記名式	2	28.6	2	25.0	31	32.6	9	34.6	44	32.4
	ウ 記名・無記名の選択式	1	14.3	2	25.0	23	24.2	3	11.5	29	21.3
回答方法	ア 選択式(学校で記入)	5	71.4	5	62.5	62	65.3	12	46.2	84	61.8
	イ 選択式(持ち帰って記入)	0	0.0	1	12.5	11	11.6	8	30.8	20	14.7
	ウ 記述式(学校で記入)	3	42.9	4	50.0	35	36.8	2	7.7	44	32.4
	エ 記述式(持ち帰って記入)	0	0.0	0	0.0	14	14.7	3	11.5	17	12.5
個別面談の実施	6	85.7	7	87.5	73	76.8	15	57.7	101	74.3	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	1	14.3	4	50.0	8	8.4	6	23.1	19	14.0	
家庭訪問	6	85.7	2	25.0	5	5.3	8	30.8	21	15.4	
その他	2	28.6	1	12.5	0	0.0	7	26.9	10	7.4	
いじめを認知していない学校数	7		8		95		26		136		

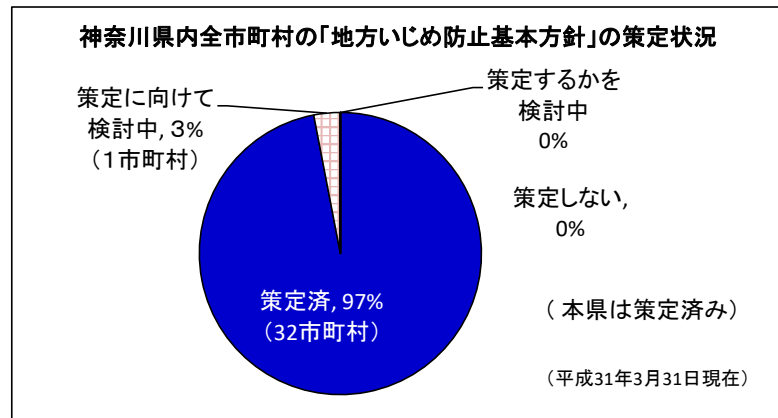
(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

【合計】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	
アンケート調査の実施	855	99.9	414	99.8	185	100.0	37	78.7	1,491	99.2	
実施頻度	ア 年1回	24	2.8	8	1.9	27	14.6	13	27.7	72	4.8
	イ 年2～3回	711	83.1	254	61.2	155	83.8	24	51.1	1,144	76.1
	ウ 年4回以上	120	14.0	152	36.6	3	1.6	0	0.0	275	18.3
調査方法	ア 記名式	586	68.5	309	74.5	92	49.7	14	29.8	1,001	66.6
	イ 無記名式	410	47.9	200	48.2	57	30.8	16	34.0	683	45.4
	ウ 記名・無記名の選択式	64	7.5	59	14.2	46	24.9	7	14.9	176	11.7
回答方法	ア 選択式(学校で記入)	761	88.9	367	88.4	123	66.5	26	55.3	1,277	85.0
	イ 選択式(持ち帰って記入)	6	0.7	15	3.6	20	10.8	10	21.3	51	3.4
	ウ 記述式(学校で記入)	533	62.3	290	69.9	80	43.2	8	17.0	911	60.6
	エ 記述式(持ち帰って記入)	3	0.4	15	3.6	25	13.5	4	8.5	47	3.1
個別面談の実施	792	92.5	406	97.8	154	83.2	30	63.8	1,382	91.9	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	385	45.0	213	51.3	17	9.2	11	23.4	626	41.7	
家庭訪問	591	69.0	314	75.7	17	9.2	11	23.4	933	62.1	
その他	50	5.8	24	5.8	7	3.8	8	17.0	89	5.9	
学校総数	856		415		185		47		1,503		

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(参考)「いじめ防止対策推進法」に関して



いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
重大事態発生件数(校)	10	11	0	0	21
重大事態発生件数(件)	10	11	0	0	21
うち、第1号	5	4	0	0	9
うち、第2号	6	9	0	0	15

※いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」であり、同項第2号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

いじめ防止対策推進法第30条第2項及び第31条第2項に規定する調査(再調査)について

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
再調査を行った件数(校)	0	0	0	0	0

(2-12)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校							中学校				特別支援学校			合計	就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	小学部	中学部	計		
平成30年度	4	0	2	0	8	7	21	4	4	2	10	0	0	0	31	8

## 3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校】

## (3-1)理由別長期欠席者数

区分	学年	在籍者数	理由別長期欠席者数									
			不登校		経済的理由		病気		その他		計	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
小学校	1年生	72,982	216	0.30	0	0.00	216	0.30	140	0.19	572	0.78
	2年生	74,704	342	0.46	1	0.00	269	0.36	170	0.23	782	1.05
	3年生	74,710	474	0.63	0	0.00	252	0.34	154	0.21	880	1.18
	4年生	75,617	666	0.88	0	0.00	331	0.44	198	0.26	1,195	1.58
	5年生	76,612	886	1.16	0	0.00	390	0.51	195	0.25	1,471	1.92
	6年生	75,895	1,155	1.52	0	0.00	387	0.51	291	0.38	1,833	2.42
	計	450,520	3,739	0.83	1	0.00	1,845	0.41	1,148	0.25	6,733	1.49
中学校	1年生	65,041	2,241	3.45	0	0.00	421	0.65	110	0.17	2,772	4.26
	2年生	67,133	3,252	4.84	1	0.00	515	0.77	122	0.18	3,890	5.79
	3年生	68,973	3,362	4.87	0	0.00	520	0.75	150	0.22	4,032	5.85
	計	201,147	8,855	4.40	1	0.00	1,456	0.72	382	0.19	10,694	5.32
合 計	651,667	12,594	1.93	2	0.00	3,301	0.51	1,530	0.23	17,427	2.67	

(注1)在籍者数は、平成30年5月1日現在

(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。

「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「その他」に該当するものを計上している。

「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。)

「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せないとか、生徒が働いて家計を助けなければならない等のため

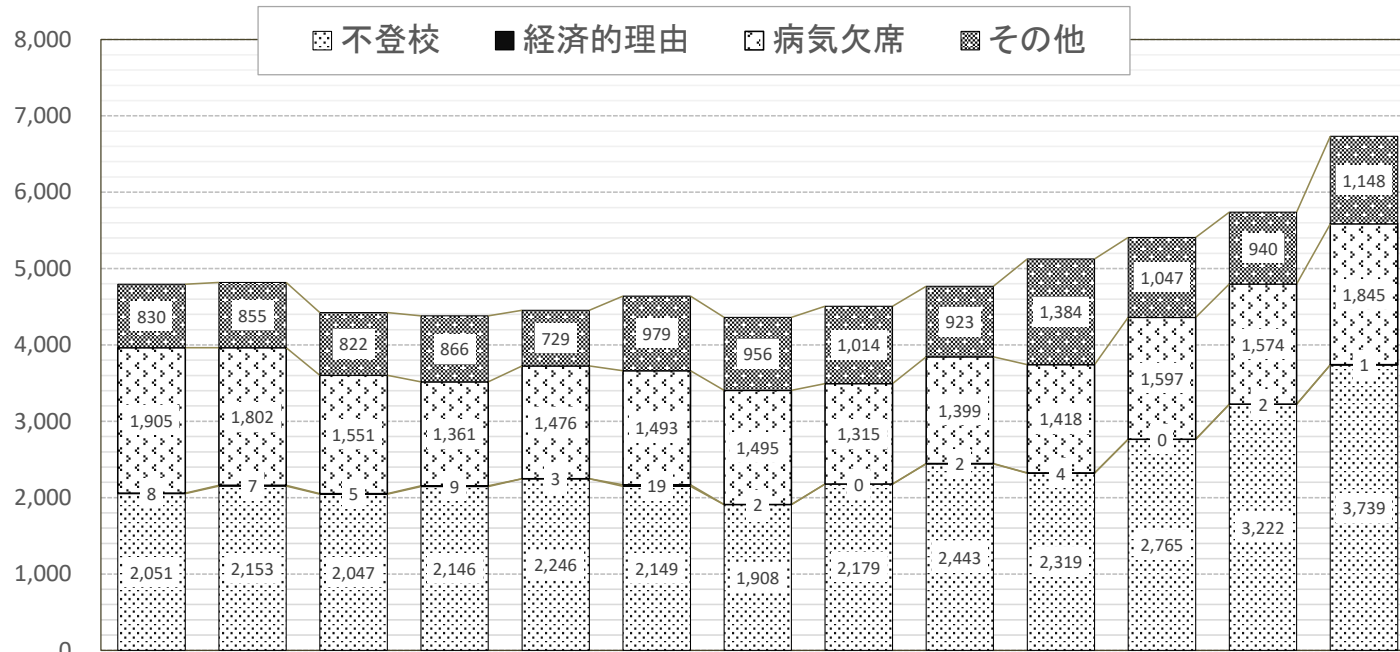
「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため

「その他」：上記のいずれにも該当しない理由のため

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

【小学校】

理由別長期欠席者(年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒)数の推移(人)

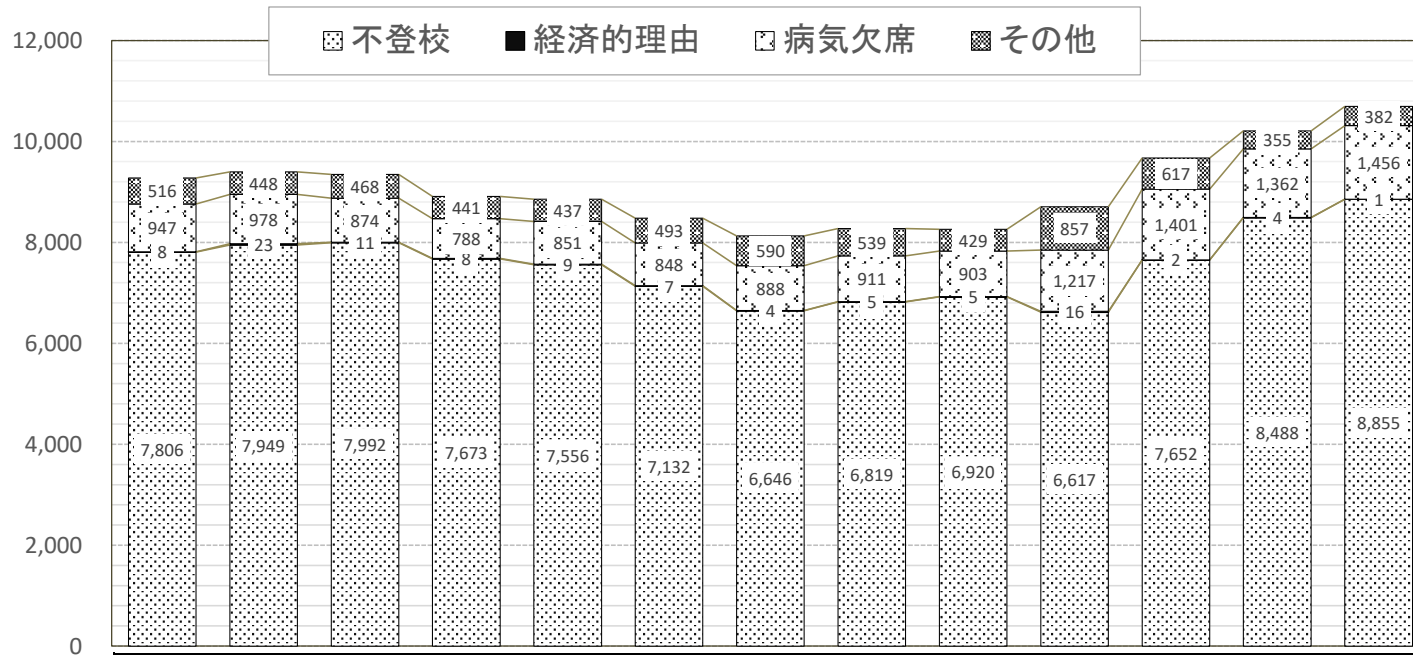


	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
その他	830	855	822	866	729	979	956	1,014	923	1,384	1,047	940	1,148
病気欠席	1,905	1,802	1,551	1,361	1,476	1,493	1,495	1,315	1,399	1,418	1,597	1,574	1,845
経済的理由	8	7	5	9	3	19	2	0	2	4	0	2	1
不登校	2,051	2,153	2,047	2,146	2,246	2,149	1,908	2,179	2,443	2,319	2,765	3,222	3,739
(出現率) <%>	0.44%	0.46%	0.43%	0.45%	0.47%	0.46%	0.41%	0.47%	0.53%	0.51%	0.61%	0.71%	0.83%
長期欠席合計	4,794	4,817	4,425	4,382	4,454	4,640	4,361	4,508	4,767	5,125	5,409	5,738	6,733
(出現率) <%>	1.02%	1.02%	0.93%	0.92%	0.94%	0.99%	0.94%	0.98%	1.04%	1.13%	1.20%	1.27%	1.49%
全児童数	471,352	472,013	475,205	475,693	474,156	469,542	463,403	459,278	456,741	454,730	451,751	450,878	450,520
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	42.78%	44.70%	46.26%	48.97%	50.43%	46.31%	43.75%	48.34%	51.25%	45.25%	51.12%	56.15%	55.53%



【中学校】

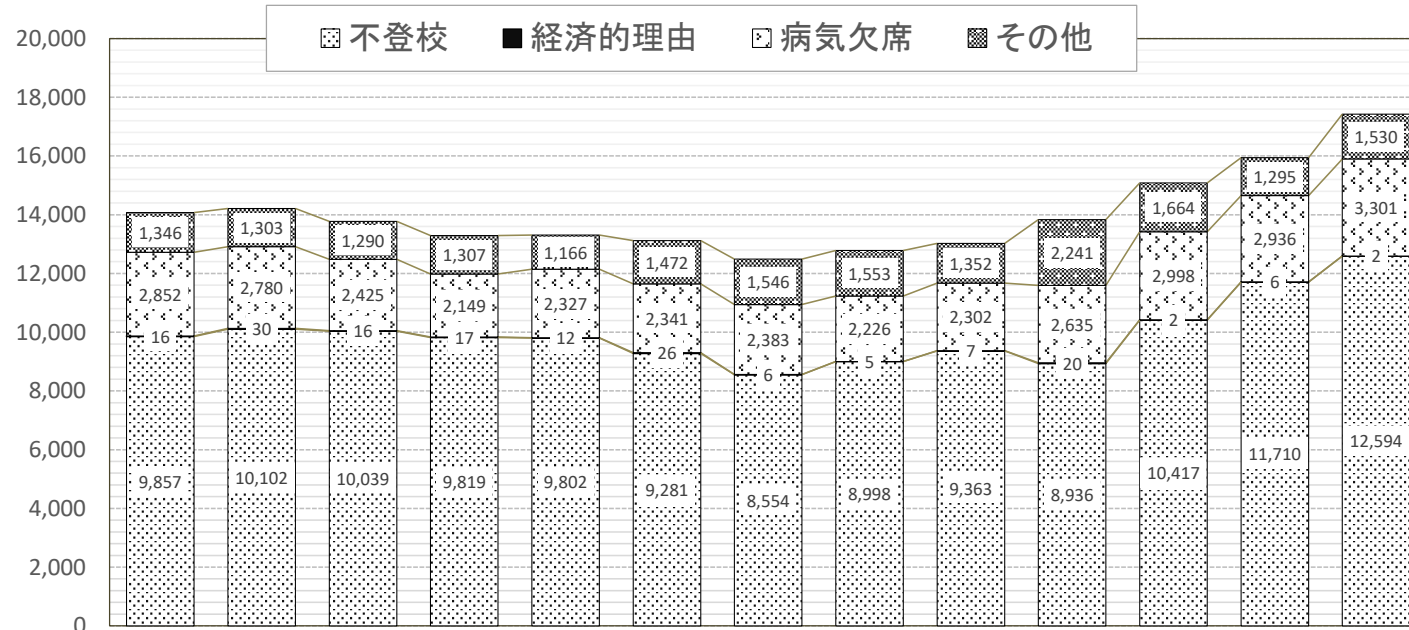
理由別長期欠席者（年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒）数の推移（人）



	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
その他	516	448	468	441	437	493	590	539	429	857	617	355	382
病気欠席	947	978	874	788	851	848	888	911	903	1,217	1,401	1,362	1,456
経済的理由	8	23	11	8	9	7	4	5	5	16	2	4	1
不登校	7,806	7,949	7,992	7,673	7,556	7,132	6,646	6,819	6,920	6,617	7,652	8,488	8,855
(出現率) <%>	4.02%	4.02%	4.00%	3.79%	3.72%	3.43%	3.17%	3.23%	3.29%	3.16%	3.68%	4.14%	4.40%
長期欠席合計	9,277	9,398	9,345	8,910	8,853	8,480	8,128	8,274	8,257	8,707	9,672	10,209	10,694
(出現率) <%>	4.78%	4.76%	4.68%	4.40%	4.36%	4.08%	3.88%	3.92%	3.93%	4.15%	4.65%	4.98%	5.32%
全生徒数	194,015	197,604	199,652	202,448	203,132	207,684	209,568	210,880	210,296	209,696	208,032	205,144	201,147
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	84.14%	84.58%	85.52%	86.12%	85.35%	84.10%	81.77%	82.41%	83.81%	76.00%	79.11%	83.14%	82.80%

【小・中学校合計】

理由別長期欠席者(年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒)数の推移(人)



	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
その他	1,346	1,303	1,290	1,307	1,166	1,472	1,546	1,553	1,352	2,241	1,664	1,295	1,530
病気欠席	2,852	2,780	2,425	2,149	2,327	2,341	2,383	2,226	2,302	2,635	2,998	2,936	3,301
経済的理由	16	30	16	17	12	26	6	5	7	20	2	6	2
不登校	9,857	10,102	10,039	9,819	9,802	9,281	8,554	8,998	9,363	8,936	10,417	11,710	12,594
(出現率) <%>	1.48%	1.51%	1.49%	1.45%	1.45%	1.37%	1.27%	1.34%	1.40%	1.40%	1.58%	1.79%	1.93%
長期欠席合計	14,071	14,215	13,770	13,292	13,307	13,120	12,489	12,782	13,024	13,832	15,081	15,947	17,427
(出現率) <%>	2.11%	2.12%	2.04%	1.96%	1.96%	1.94%	1.86%	1.91%	1.95%	2.08%	2.29%	2.43%	2.67%
全児童・生徒数	665,367	669,617	674,857	678,141	677,288	677,226	672,971	670,158	667,037	664,426	659,783	656,022	651,667
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	70.05%	71.07%	72.90%	73.87%	73.66%	70.74%	68.49%	70.40%	71.89%	64.60%	69.07%	73.43%	72.27%

## (3-2) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	216	342	474	666	886	1,155	3,739	2,241	3,252	3,362	8,855	12,594

(参考)

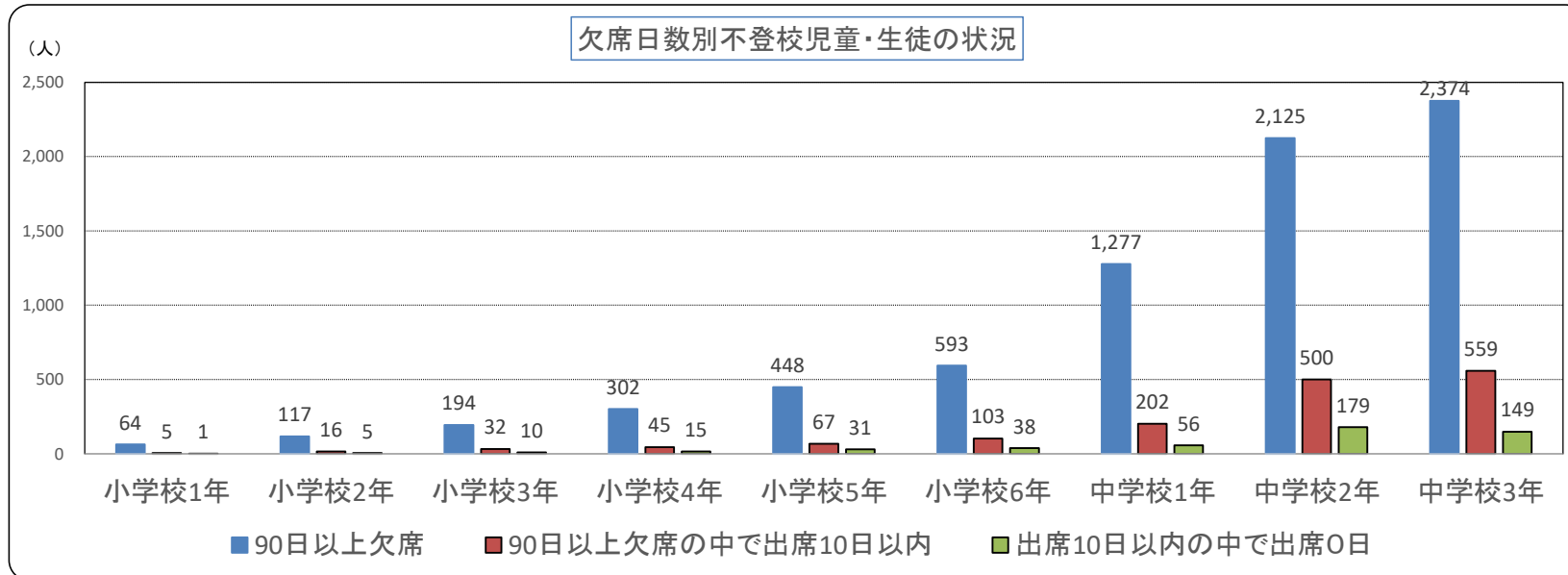
## 不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校生徒 数の増減率 (%)	(A) 全児童・ 生徒数(人)	(B) 不登校児童・ 生徒数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童・ 生徒数の増 減率(%)
7年度	487,323	1,026	0.21	—	237,307	3,905	1.65	—	724,630	4,931	0.68	—
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	▲ 13.5	215,077	6,599	3.07	▲ 0.4	664,032	8,243	1.24	▲ 3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	▲ 2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	▲ 9.6	194,953	7,007	3.59	▲ 1.6	652,354	8,976	1.38	▲ 3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	▲ 3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	▲ 0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	▲ 2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	▲ 4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	▲ 0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	▲ 4.0	678,141	9,819	1.45	▲ 2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	▲ 1.5	677,288	9,802	1.45	▲ 0.2
23年度	469,542	2,149	0.46	▲ 4.3	207,684	7,132	3.43	▲ 5.6	677,226	9,281	1.37	▲ 5.3
24年度	463,403	1,908	0.41	▲ 11.2	209,568	6,646	3.17	▲ 6.8	672,971	8,554	1.27	▲ 7.8
25年度	459,278	2,179	0.47	14.2	210,880	6,819	3.23	2.6	670,158	8,998	1.34	5.2
26年度	456,741	2,443	0.53	12.1	210,296	6,920	3.29	1.5	667,037	9,363	1.40	4.1
27年度	454,730	2,319	0.51	▲ 5.1	209,696	6,617	3.16	▲ 4.4	664,426	8,936	1.34	▲ 4.6
28年度	451,751	2,765	0.61	19.2	208,032	7,652	3.68	15.6	659,783	10,417	1.58	16.6
29年度	450,878	3,222	0.71	16.5	205,144	8,488	4.14	10.9	656,022	11,710	1.79	12.4
30年度	450,520	3,739	0.83	16.0	201,147	8,855	4.40	4.3	651,667	12,594	1.93	7.5

(3-3) 欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	在籍児童・生徒数	不登校児童・生徒数	不登校で90日以上欠席の者					
				うち、出席日数が10日以下					
				うち、出席日数が0日		うち、出席日数が10日以上		うち、出席日数が10日以下	
人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)		
小学校	1年生	72,982	216	64	29.6	5	2.3	1	0.5
	2年生	74,704	342	117	34.2	16	4.7	5	1.5
	3年生	74,710	474	194	40.9	32	6.8	10	2.1
	4年生	75,617	666	302	45.3	45	6.8	15	2.3
	5年生	76,612	886	448	50.6	67	7.6	31	3.5
	6年生	75,895	1,155	593	51.3	103	8.9	38	3.3
	計	450,520	3,739	1,718	45.9	268	7.2	100	2.7
中学校	1年生	65,041	2,241	1,277	57.0	202	9.0	56	2.5
	2年生	67,133	3,252	2,125	65.3	500	15.4	179	5.5
	3年生	68,973	3,362	2,374	70.6	559	16.6	149	4.4
	計	201,147	8,855	5,776	65.2	1,261	14.2	384	4.3
合計	651,667	12,594	7,494	59.5	1,529	12.1	484	3.8	

(注) パーセンテージは、各区分における不登校生徒に対する割合



(3-4) 不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(%) (B/A×100)
小学校	856	765	89.4
中学校	415	405	97.6
計	1,271	1,170	92.1

(3-5) 不登校の要因

分類 区分	小学校										中学校								計														
	分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし	分類別生徒数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし											
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学・転編入学・進級時の不適応				いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学・転編入学・進級時の不適応													
「学校における人間関係」に課題を抱えている	581	57	361	127	49	11	0	13	23	153	16	1,751	65	1,275	123	189	34	92	30	95	231	23	2,332	122	1,636	250	238	45	92	43	118	384	39
「あそび・非行」の傾向がある	42	0	4	0	5	0	0	2	1	39	1	308	0	36	7	73	7	3	74	10	151	14	350	0	40	7	78	7	3	76	11	190	15
「無気力」の傾向がある	867	3	109	26	259	11	2	22	23	602	67	2,568	23	401	32	1,002	135	60	61	229	755	321	3,435	26	510	58	1,261	146	62	83	252	1,357	388
「不安」の傾向がある	1,539	14	459	104	341	32	10	73	111	639	242	3,222	19	1,249	69	919	276	66	32	392	604	378	4,761	33	1,708	173	1,260	308	76	105	503	1,243	620
「その他」	710	3	36	7	46	2	0	5	21	532	149	1,006	3	98	14	129	24	17	20	67	464	272	1,716	6	134	21	175	26	17	25	88	996	421
計	3,739	77	969	264	700	56	12	115	179	1,965	475	8,855	110	3,059	245	2,312	476	238	217	793	2,205	1,008	12,594	187	4,028	509	3,012	532	250	332	972	4,170	1,483

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

不登校児童・生徒数	小学校	3,739	中学校	8,855	合計	12,594
-----------	-----	-------	-----	-------	----	--------

(3-6)不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	1,221	32.7	2,738	30.9	3,959	31.4
指導中の児童・生徒	2,518	67.3	6,117	69.1	8,635	68.6
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童・生徒	832	22.3	1,944	22.0	2,776	22.0

(3-7)相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校				中学校				計					
	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数(A)	不登校児童・生徒数における(A)の割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	指導要録上出席扱いした学校数(C)	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	1,657	456	260	25	3,100	1,445	301	48	4,757	37.77	1,901	0.4	561	73
①教育支援センター(適応指導教室)	287	210	157	10	950	840	267	30	1,237	9.82	1,050	0.8	424	40
②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	516	186	113	3	603	378	106	3	1,119	8.89	564	0.5	219	6
③児童相談所、福祉事務所	347	48	43	—	576	146	80	—	923	7.33	194	0.2	123	—
④保健所、精神保健福祉センター	40	0	0	—	21	5	4	—	61	0.48	5	0.1	4	—
⑤病院、診療所	545	35	29	—	860	47	27	—	1,405	11.16	82	0.1	56	—
⑥民間団体、民間施設	200	79	60	12	369	225	111	15	569	4.52	304	0.5	171	27
⑦上記以外の機関等	71	18	14	—	109	45	18	—	180	1.43	63	0.4	32	—
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	2,082	—	—	—	5,755	—	—	—	7,837	62.23	—	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)	2,005	—	—	—	3,748	—	—	—	5,753	45.68	—	—	—	—
⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	641	—	—	—	1,281	—	—	—	1,922	15.26	—	—	—	—
⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	1,672	—	—	—	3,009	—	—	—	4,681	37.17	—	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,734	—	—	—	5,107	—	—	—	6,841	54.32	—	—	—	—
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	823	—	—	—	3,053	—	—	—	3,876	30.78	—	—	—	—

(注)①～⑦、⑧、⑨は複数回答を可とする。

(3-8) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

小学校	中学校	計
456	1,445	1,901

(3-9) 自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	5	11
うち(3-8)の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	3	5

(3-10) 不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
平成30年度不登校児童・生徒数	342	474	666	886	1,155	3,523	2,241	3,252	3,362	8,855
うち平成29年度から継続	115	177	281	386	571	1,530	716	1,821	2,311	4,848
比率(%)	33.6	37.3	42.2	43.6	49.4	43.4	32.0	56.0	68.7	54.7

(3-10) 教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市町村 設置	63	37	17.2	178	82.8	215	100
計	63	37	17.2	178	82.8	215	100

## 4 長期欠席・不登校生徒の状況【公立高等学校】

## (4-1) 高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数										
		不登校		経済的理由		病気		その他		計		
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全 日 制	130,052	1,858	1.43	24	0.02	931	0.72	1,771	1.36	4,584	3.52	
内 訳	1 年 生	35,661	473	1.33	1	0.00	186	0.52	244	0.68	904	2.53
	2 年 生	35,205	466	1.32	10	0.03	278	0.79	343	0.97	1,097	3.12
	3 年 生	34,449	319	0.93	5	0.01	277	0.80	565	1.64	1,166	3.38
	単 位 制	24,737	600	2.43	8	0.03	190	0.77	619	2.50	1,417	5.73
定 時 制	7,012	847	12.08	175	2.50	243	3.47	1,071	15.27	2,336	33.31	
内 訳	1 年 生	614	82	13.36	10	1.63	21	3.42	73	11.89	186	30.29
	2 年 生	575	60	10.43	8	1.39	20	3.48	57	9.91	145	25.22
	3 年 生	551	58	10.53	19	3.45	11	2.00	58	10.53	146	26.50
	4 年 生	434	27	6.22	19	4.38	15	3.46	48	11.06	109	25.12
	単 位 制	4,838	620	12.82	119	2.46	176	3.64	835	17.26	1,750	36.17
計	137,064	2,705	1.97	199	0.15	1,174	0.86	2,842	2.07	6,920	5.05	
内 訳	1 年 生	36,275	555	1.53	11	0.03	207	0.57	317	0.87	1,090	3.00
	2 年 生	35,780	526	1.47	18	0.05	298	0.83	400	1.12	1,242	3.47
	3 年 生	35,000	377	1.08	24	0.07	288	0.82	623	1.78	1,312	3.75
	4 年 生	434	27	6.22	19	4.38	15	3.46	48	11.06	109	25.12
	単 位 制	29,575	1,220	4.13	127	0.43	366	1.24	1,454	4.92	3,167	10.71

(注1)在籍者数は、平成30年5月1日現在

(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。

「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「その他」に該当するものを計上している。

「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。)

「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せないとか、生徒が働いて家計を助けなければならない等のため

「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため

「その他」：上記のいずれにも該当しない理由のため

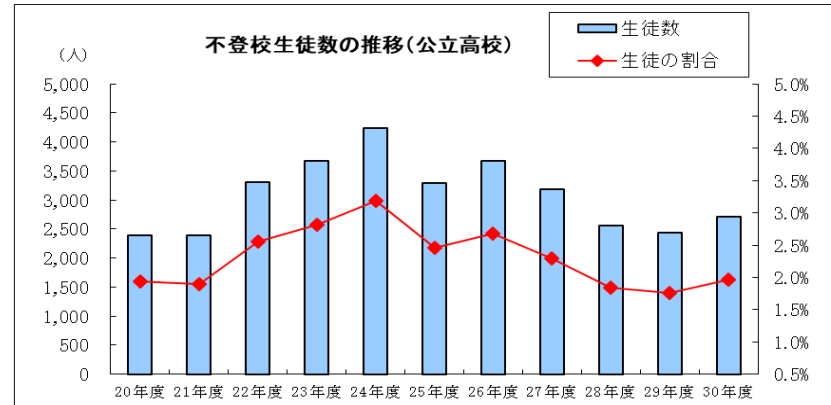
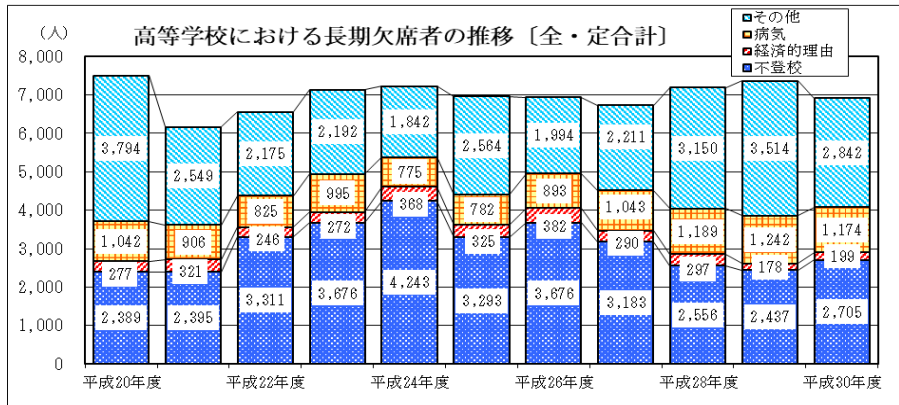
(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合



(参考)  
高等学校における理由別長期欠席者数の推移

ア 公立高等学校合計

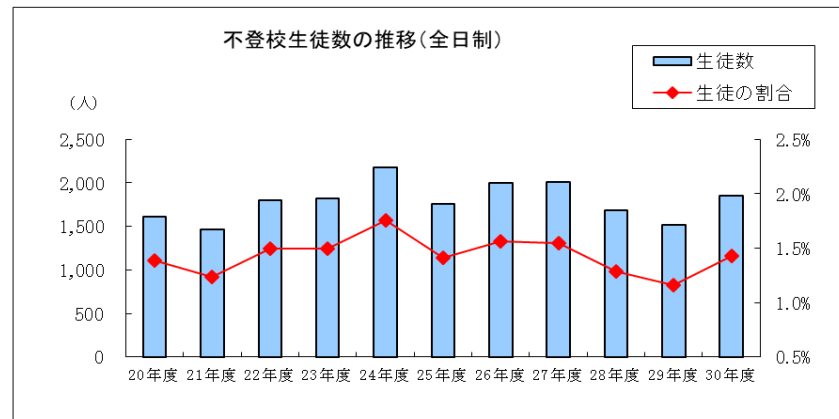
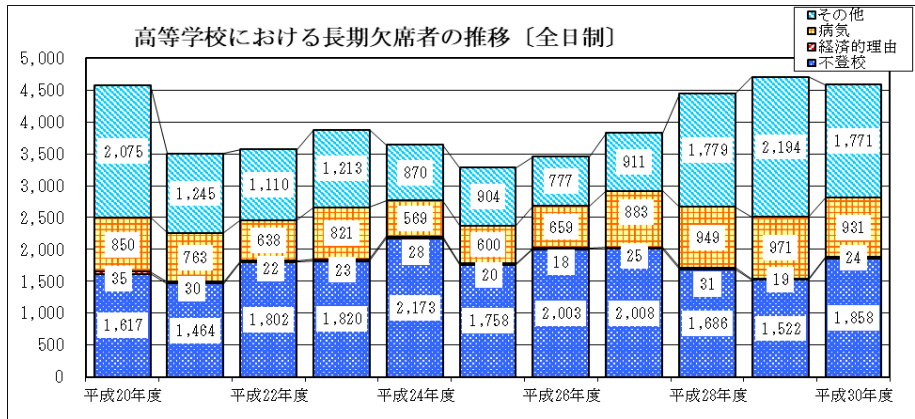
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
20年度	123,763	2,389	1.93	-	277	0.22	-	1,042	0.84	-	3,794	3.07	-	7,502	6.06	-
21年度	125,938	2,395	1.90	▲ 0.03	321	0.25	0.03	906	0.72	▲ 0.12	2,549	2.02	▲ 1.05	6,171	4.90	▲ 1.16
22年度	129,122	3,311	2.56	0.66	246	0.19	▲ 0.06	825	0.64	▲ 0.08	2,175	1.68	▲ 0.34	6,557	5.08	0.18
23年度	130,846	3,676	2.81	0.25	272	0.21	0.02	995	0.76	0.12	2,192	1.68	0.00	7,135	5.45	0.37
24年度	132,959	4,243	3.19	0.38	368	0.28	0.07	775	0.58	▲ 0.18	1,842	1.39	▲ 0.29	7,228	5.44	▲ 0.01
25年度	134,003	3,293	2.46	▲ 0.73	325	0.24	▲ 0.04	782	0.58	0.00	2,564	1.91	0.52	6,964	5.20	▲ 0.24
26年度	137,315	3,676	2.68	0.22	382	0.28	0.04	893	0.65	0.07	1,994	1.45	▲ 0.46	6,945	5.06	▲ 0.14
27年度	138,501	3,183	2.30	▲ 0.38	290	0.21	▲ 0.07	1,043	0.75	0.10	2,211	1.60	0.15	6,727	4.86	▲ 0.20
28年度	139,180	2,556	1.84	▲ 0.46	297	0.21	0.00	1,189	0.85	0.10	3,150	2.26	0.66	7,192	5.17	0.31
29年度	138,401	2,437	1.76	▲ 0.08	178	0.13	▲ 0.08	1,242	0.90	0.05	3,514	2.54	0.28	7,371	5.33	0.16
30年度	137,064	2,705	1.97	0.21	199	0.15	0.02	1,174	0.86	▲ 0.04	2,842	2.07	▲ 0.47	6,920	5.05	▲ 0.28



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
不登校 (出現率 <%)	2,389 1.93	2,395 1.90	3,311 2.56	3,676 2.81	4,243 3.19	3,293 2.46	3,676 2.68	3,183 2.30	2,556 1.84	2,437 1.76	2,705 1.97
経済的理由	277	321	246	272	368	325	382	290	297	178	199
病気	1,042	906	825	995	775	782	893	1,043	1,189	1,242	1,174
その他	3,794	2,549	2,175	2,192	1,842	2,564	1,994	2,211	3,150	3,514	2,842
長期欠席合計 (出現率 <%)	7,502 6.06	6,171 4.90	6,557 5.08	7,135 5.45	7,228 5.44	6,964 5.20	6,945 5.06	6,727 4.86	7,192 5.17	7,371 5.33	6,920 5.05
全校生徒数	123,763	125,938	129,122	130,846	132,959	134,003	137,315	138,501	139,180	138,401	137,064
長期欠席に占める不登校の割合 <%)	31.84	38.81	50.50	51.52	58.70	47.29	52.93	47.32	35.54	33.06	39.09

イ 公立高等学校全日制課程

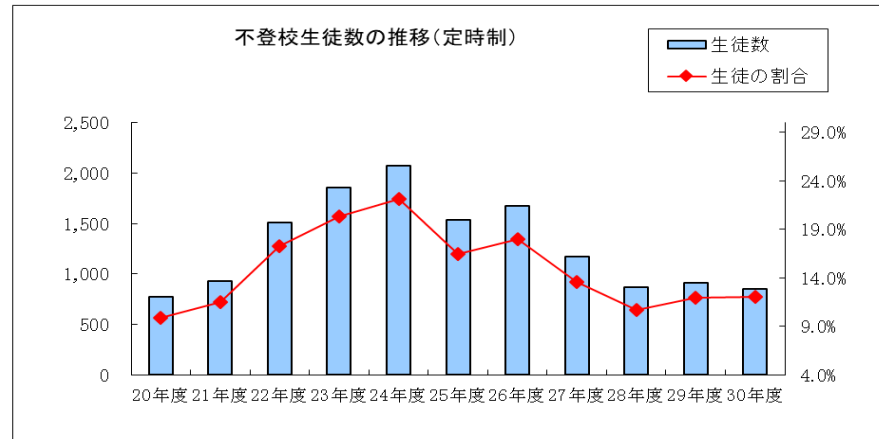
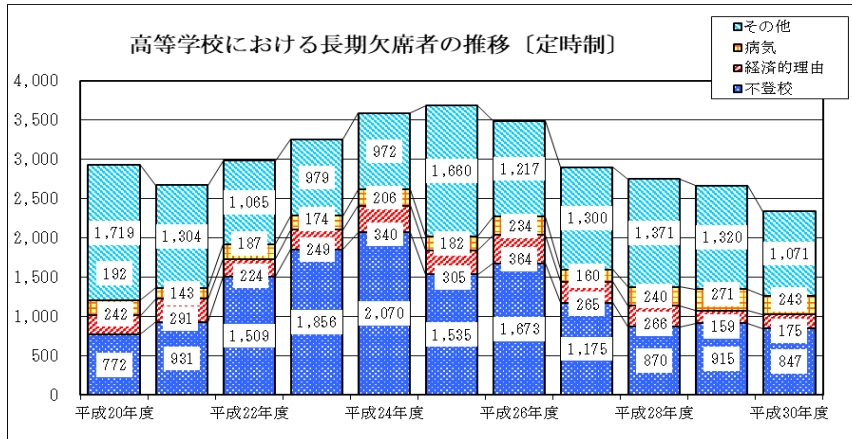
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
20年度	115,954	1,617	1.39	-	35	0.03	-	850	0.73	-	2,075	1.79	-	4,577	3.95	-
21年度	117,823	1,464	1.24	▲ 0.15	30	0.03	0.00	763	0.65	▲ 0.08	1,245	1.06	▲ 0.73	3,502	2.97	▲ 0.98
22年度	120,396	1,802	1.50	0.26	22	0.02	▲ 0.01	638	0.53	▲ 0.12	1,110	0.92	▲ 0.14	3,572	2.97	0.00
23年度	121,729	1,820	1.50	0.00	23	0.02	0.00	821	0.67	0.14	1,213	1.00	0.08	3,877	3.18	0.21
24年度	123,593	2,173	1.76	0.26	28	0.02	0.00	569	0.46	▲ 0.21	870	0.70	▲ 0.30	3,640	2.95	▲ 0.23
25年度	124,665	1,758	1.41	▲ 0.35	20	0.02	0.00	600	0.48	0.02	904	0.73	0.03	3,282	2.63	▲ 0.32
26年度	128,033	2,003	1.56	0.15	18	0.01	▲ 0.01	659	0.51	0.03	777	0.61	▲ 0.12	3,457	2.70	0.07
27年度	129,839	2,008	1.55	▲ 0.01	25	0.02	0.01	883	0.68	0.17	911	0.70	0.09	3,827	2.95	0.25
28年度	131,055	1,686	1.29	▲ 0.26	31	0.02	0.00	949	0.72	0.04	1,779	1.36	0.66	4,445	3.39	0.44
29年度	130,740	1,522	1.16	▲ 0.13	19	0.01	▲ 0.01	971	0.74	0.02	2,194	1.68	0.32	4,706	3.60	0.21
30年度	130,052	1,858	1.43	0.27	24	0.02	0.01	931	0.72	▲ 0.02	1,771	1.36	▲ 0.32	4,584	3.52	▲ 0.08



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
不登校 (出現率 <%)>	1,617 1.39	1,464 1.24	1,802 1.50	1,820 1.50	2,173 1.76	1,758 1.41	2,003 1.56	2,008 1.55	1,686 1.29	1,522 1.16	1,858 1.43
経済的理由	35	30	22	23	28	20	18	25	31	19	24
病気	850	763	638	821	569	600	659	883	949	971	931
その他	2,075	1,245	1,110	1,213	870	904	777	911	1,779	2,194	1,771
長期欠席合計 (出現率 <%)>	4,577 3.95	3,502 2.97	3,572 2.97	3,877 3.18	3,640 2.95	3,282 2.63	3,457 2.70	3,827 2.95	4,445 3.39	4,706 3.60	4,584 3.52
全校生徒数	115,954	117,823	120,396	121,729	123,593	124,665	128,033	129,839	131,055	130,740	130,052
長期欠席に占める不登校の割合 <%)>	35.33	41.80	50.45	46.94	59.70	53.56	57.94	52.47	37.93	32.34	40.53

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
20年度	7,809	772	9.89	-	242	3.10	-	192	2.46	-	1,719	22.01	-	2,925	37.46	-
21年度	8,115	931	11.47	1.59	291	3.59	0.49	143	1.76	▲ 0.70	1,304	16.07	▲ 5.94	2,669	32.89	▲ 4.57
22年度	8,726	1,509	17.29	5.82	224	2.57	▲ 1.02	187	2.14	0.38	1,065	12.20	▲ 3.86	2,985	34.21	1.32
23年度	9,117	1,856	20.36	3.06	249	2.73	0.16	174	1.91	▲ 0.23	979	10.74	▲ 1.47	3,258	35.74	1.53
24年度	9,366	2,070	22.10	1.74	340	3.63	0.90	206	2.20	0.29	972	10.38	▲ 0.36	3,588	38.31	2.57
25年度	9,338	1,535	16.44	▲ 5.66	305	3.27	▲ 0.36	182	1.95	▲ 0.25	1,660	17.78	7.40	3,682	39.43	1.12
26年度	9,282	1,673	18.02	1.59	364	3.92	0.66	234	2.52	0.57	1,217	13.11	▲ 4.67	3,488	37.58	▲ 1.85
27年度	8,662	1,175	13.56	▲ 4.46	265	3.06	▲ 0.86	160	1.85	▲ 0.67	1,300	15.01	1.90	2,900	33.48	▲ 4.10
28年度	8,125	870	10.71	▲ 2.85	266	3.27	0.21	240	2.95	1.10	1,371	16.87	1.87	2,747	33.81	0.33
29年度	7,661	915	11.94	1.23	159	2.08	▲ 1.19	271	3.54	0.59	1,320	17.23	0.36	2,665	34.79	0.98
30年度	7,012	847	12.08	0.14	175	2.50	0.42	243	3.47	▲ 0.07	1,071	15.27	▲ 1.96	2,336	33.31	▲ 1.47



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
不登校 (出現率) <%>	772 9.89	931 11.47	1,509 17.29	1,856 20.36	2,070 22.10	1,535 16.44	1,673 18.02	1,175 13.56	870 10.71	915 11.94	847 12.08
経済的理由	242	291	224	249	340	305	364	265	266	159	175
病気	192	143	187	174	206	182	234	160	240	271	243
その他	1,719	1,304	1,065	979	972	1,660	1,217	1,300	1,371	1,320	1,071
長期欠席合計 (出現率) <%>	2,925 37.46	2,669 32.89	2,985 34.21	3,258 35.74	3,588 38.31	3,682 39.43	3,488 37.58	2,900 33.48	2,747 33.81	2,665 34.79	2,336 33.31
全校生徒数	7,809	8,115	8,726	9,117	9,366	9,338	9,282	8,662	8,125	7,661	7,012
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	26.39	34.88	50.55	56.97	57.69	41.69	47.96	40.52	31.67	34.33	36.26

(4-2) 不登校状態が前年度から継続している生徒数

区分	1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計		
	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	
全日制	不登校生徒数	473	—	466	—	319	—	—	—	600	—	1,858	—
	うち 前年度から継続	68	14.4	165	35.4	132	41.4	—	—	202	33.7	567	30.5
定時制	不登校生徒数	82	—	60	—	58	—	27	—	620	—	847	—
	うち 前年度から継続	40	48.8	25	41.7	31	53.4	20	74.1	352	56.8	468	55.3
計	不登校生徒数	555	—	526	—	377	—	27	—	1,220	—	2,705	—
	うち 前年度から継続	108	19.5	190	36.1	163	43.2	20	74.1	554	45.4	1,035	38.3

(注)構成比は、各課程・各学年の不登校生徒数に占める割合

(4-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制		定時制		計	
	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)
不登校生徒数	1,858	—	847	—	2,705	—
うち中途退学に至った者	568	30.6	198	23.4	766	28.3
うち原級留置に至った者	70	3.8	54	6.4	124	4.6

(注)※印は各課程の不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4-4)不登校の要因

区分  分類	全 日 制													定 時 制																										
	分類別生徒数	学校に係る状況											家庭に係る状況	分類別生徒数	学校に係る状況											家庭に係る状況														
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題			学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応																					
※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※											
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	297	93	5	2	258	78	6	2	6	2	3	1	13	4	8	3	18	8	13	4	65	34	1	1	57	31	3	1	7	4	6	1	2	1	2	1	5	5	6	1
「あそび・非行」の傾向がある。	163	91	0	0	16	8	2	2	18	7	1	0	1	1	18	6	26	21	22	12	153	120	0	0	20	10	3	1	29	21	3	1	0	0	12	10	18	9	10	5
「無気力」の傾向がある。	688	210	1	0	33	12	3	1	196	30	21	11	5	2	9	2	83	35	40	15	375	311	0	0	16	12	3	3	38	30	12	5	2	2	13	10	38	17	35	24
「不安」の傾向がある。	246	70	0	0	34	4	4	4	21	7	74	17	13	3	2	1	38	18	35	9	97	52	0	0	25	14	1	0	7	4	19	10	1	0	1	1	21	7	21	12
「その他」	464	136	0	0	13	4	1	0	26	3	16	2	7	1	10	4	53	23	72	24	157	103	0	0	1	1	0	0	3	3	3	2	1	0	1	0	3	2	31	20
計	1858	600	6	2	354	106	16	9	267	49	115	31	39	11	47	16	218	105	182	64	847	620	1	1	119	68	10	5	84	62	43	19	6	3	29	22	85	40	103	62

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(4-5)不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制				(2)定時制				計			
	人数(人)	割合(%)	※うち、単位制		人数(人)	割合(%)	※うち、単位制		人数(人)	割合(%)	※うち、単位制	
			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	508	27.3	137	22.8	181	21.4	133	21.5	689	25.5	270	22.1
指導中の生徒	1,350	72.7	463	77.2	666	78.6	487	78.5	2,016	74.5	950	77.9
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒	230	12.4	114	19.0	232	27.4	158	25.5	462	17.1	272	22.3
計	1,858	100.0	600	100.0	847	100.0	620	100.0	2,705	100.0	1,220	100.0

(4-6) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	全日制				定時制				計							
	相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数(A)		不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)		指導要録上出席扱いした人数(B)		(B)/(A) (%)	
	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	※うち 単位制	
(1) ①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	245	73	3	1	87	55	2	1	332	128	12.27	10.49	5	2	1.51	1.56
①教育支援センター(適応指導教室)	17	4	0	0	9	5	0	0	26	9	0.96	0.74	0	0	0.00	0.00
②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	21	4	3	1	4	2	0	0	25	6	0.92	0.49	3	1	12.00	16.67
③児童相談所、福祉事務所	39	16	1	0	24	17	2	1	63	33	2.33	2.70	3	1	4.76	3.03
④保健所、精神福祉保健センター	7	2	0	0	0	0	0	0	7	2	0.26	0.16	0	0	0.00	0.00
⑤病院、診療所	166	51	0	0	28	16	0	0	194	67	7.17	5.49	0	0	0.00	0.00
⑥民間団体、民間施設	9	1	0	0	10	7	0	0	19	8	0.70	0.66	0	0	0.00	0.00
⑦上記以外の機関等	13	1	0	0	24	18	0	0	37	19	1.37	1.56	0	0	0.00	0.00
(2) ①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,394	485	—	—	722	534	—	—	2,116	1,019	78.23	83.52	—	—	—	—
(3) 不明(実数)	219	42	—	—	38	31	—	—	257	73	9.50	5.98	—	—	—	—
(4) (1)～(3)の合計	1,858	600	—	—	847	620	—	—	2,705	1,220	100.00	100.00	—	—	—	—
(5) ⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)	699	229	—	—	221	159	—	—	920	388	34.01	31.80	—	—	—	—
⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	487	175	—	—	168	119	—	—	655	294	24.21	24.10	—	—	—	—
⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	465	142	—	—	95	68	—	—	560	210	20.70	17.21	—	—	—	—
(6) ⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,159	371	—	—	626	461	—	—	1,785	832	65.99	68.20	—	—	—	—
(7) (5)～(6)の合計	1,858	600	—	—	847	620	—	—	2,705	1,220	100.00	100.00	—	—	—	—
(8) 上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	941	332	—	—	559	409	—	—	1,500	741	55.45	60.74	—	—	—	—

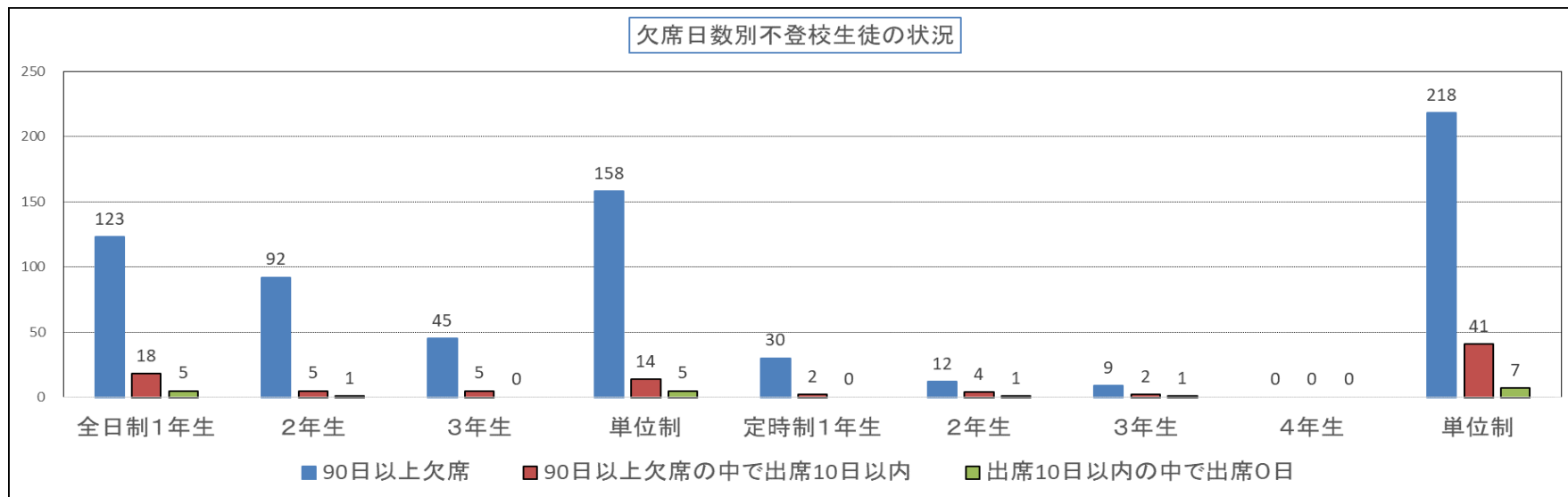
(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答可

(注2)(8)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

(4-7) 欠席日数別不登校生徒の状況

区分	学年	在籍生徒数	不登校生徒数	中退	原級留置	不登校で90日以上欠席の者					
						うち、出席日数が10日以下					
						うち、出席日数が0日		うち、出席日数が1日		うち、出席日数が2日以上	
人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)						
全日制	1年生	35,661	473	200	29	123	26.0	18	3.8	5	1.1
	2年生	35,205	466	142	24	92	19.7	5	1.1	1	0.2
	3年生	34,449	319	61	5	45	14.1	5	1.6	0	0.0
	単位制	24,737	600	165	12	158	26.3	14	2.3	5	0.8
	計	130,052	1,858	568	70	418	22.5	42	2.3	11	0.6
定時制	1年生	614	82	47	13	30	36.6	2	2.4	0	0.0
	2年生	575	60	21	8	12	20.0	4	6.7	1	1.7
	3年生	551	58	8	8	9	15.5	2	3.4	1	1.7
	4年生	434	27	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	単位制	4,838	620	121	25	218	35.2	41	6.6	7	1.1
	計	7,012	847	198	54	269	31.8	49	5.8	9	1.1
合計		137,064	2,705	766	124	687	25.4	91	3.4	20	0.7

(注)パーセンテージは、各区分における不登校生徒に対する割合



## 5 中途退学者等の状況【公立高等学校】

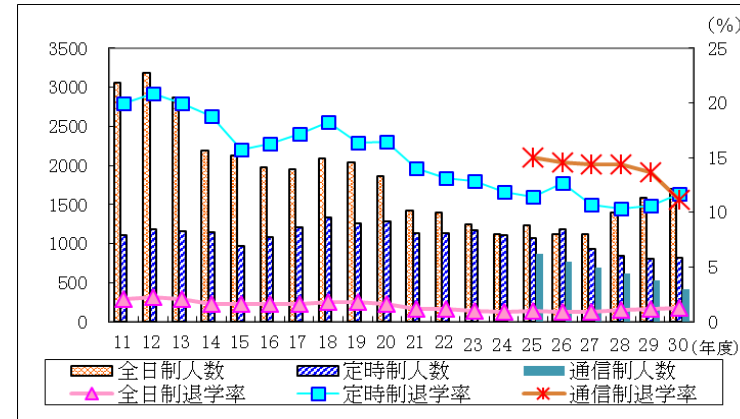
### (5-1) 課程・学年別中途退学者数

区分	全日制					定時制					通信制		合計	
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	計	単位制		計
中途退学者数	592	447	156	503	1,698	134	70	33	14	566	817	414	414	2,929

### (参考)

#### 中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			定時制			通信制		
	人数	中途退学率	増減(p)	人数	中途退学率	増減(p)	人数	中途退学率	増減(p)
平成11年度	3,061	2.09	-	1,104	19.95	-			
平成12年度	3,188	2.21	0.12	1,187	20.83	0.88			
平成13年度	2,871	2.07	▲ 0.14	1,162	20.00	▲ 0.83			
平成14年度	2,185	1.67	▲ 0.40	1,150	18.83	▲ 1.17			
平成15年度	2,125	1.67	0.00	971	15.72	▲ 3.11			
平成16年度	1,976	1.60	▲ 0.07	1,078	16.28	0.56			
平成17年度	1,952	1.62	0.02	1,209	17.16	0.88			
平成18年度	2,089	1.79	0.17	1,331	18.28	1.12			
平成19年度	2,036	1.77	▲ 0.02	1,255	16.34	▲ 1.94			
平成20年度	1,865	1.61	▲ 0.16	1,279	16.44	0.10			
平成21年度	1,426	1.21	▲ 0.40	1,134	14.03	▲ 2.41			
平成22年度	1,398	1.16	▲ 0.05	1,139	13.12	▲ 0.91			
平成23年度	1,247	1.03	▲ 0.13	1,170	12.86	▲ 0.26			
平成24年度	1,125	0.91	▲ 0.12	1,109	11.86	▲ 1.00			
平成25年度	1,230	0.99	0.08	1,067	11.46	▲ 0.40	869	15.02	-
平成26年度	1,126	0.88	▲ 0.11	1,180	12.72	1.26	770	14.61	▲ 0.41
平成27年度	1,127	0.87	▲ 0.01	928	10.72	▲ 2.00	698	14.35	▲ 0.26
平成28年度	1,400	1.07	0.20	838	10.34	▲ 0.38	618	14.39	0.04
平成29年度	1,585	1.21	0.14	810	10.61	0.27	525	13.68	▲ 0.71
平成30年度	1,698	1.31	0.09	817	11.69	1.08	414	11.17	▲ 2.51



(注1)中途退学率は、平成30年4月1日現在の在籍者数に占める中途退学者数の割合

(注2)平成25年度より、通信制についても数値を計上



## (5-2)事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	203	12.0	33	4.0	1	0.2
学校生活・学業不適応	700	41.2	226	27.7	12	2.9
もともと高校生活に熱意がない	212	12.5	129	15.8	3	0.7
授業に興味がわかない	127	7.5	23	2.8	0	0.0
人間関係がうまく保てない	142	8.4	22	2.7	0	0.0
学校の雰囲気が合わない	112	6.6	22	2.7	3	0.7
その他	107	6.3	30	3.7	6	1.4
進路変更	563	33.2	344	42.1	36	8.7
別の高校への入学を希望	197	11.6	66	8.1	16	3.9
専修・各種学校への入学を希望	13	0.8	6	0.7	4	1.0
就職を希望	144	8.5	197	24.1	8	1.9
高卒程度認定試験を受験希望	98	5.8	23	2.8	4	1.0
その他	111	6.5	52	6.4	4	1.0
病気・けが・死亡	67	3.9	17	2.1	2	0.5
経済的理由	2	0.1	3	0.4	0	0.0
家庭の事情	62	3.7	53	6.5	5	1.2
問題行動等	57	3.4	15	1.8	0	0.0
その他の理由	44	2.6	126	15.4	358	86.5
定時制・通信制 仕事の多忙	—	—	38	4.7	4	1.0
勤務先の事情	—	—	1	0.1	1	0.2
その他	44	2.6	87	10.6	353	85.3
中途退学者数	1,698	100.0	817	100.0	414	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

## (5-3)経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
①授業料減免を受けていた者	1	50.0	1	33.3	0	0.0
②奨学金の貸与を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
③授業料の滞納があった者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
④上記のいずれかにも該当しない者	1	50.0	2	66.7	0	0.0
経済的理由による中途退学者数	2	100.0	3	100.0	0	100.0

(注1)①～③については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

## (5-4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1年生	431	1.39	161	3.52	—	—	134	21.75	—	—	726	2.00
2年生	346	1.12	101	2.31	—	—	70	12.35	—	—	517	1.45
3年生	131	0.43	25	0.58	—	—	33	6.00	—	—	189	0.54
4年生	—	—	—	—	—	—	14	3.23	—	—	14	3.23
単位制	301	2.30	84	2.25	118	1.49	566	11.74	414	11.17	1,483	4.46
合計	1,209	1.15	371	2.19	118	1.49	817	11.69	414	11.17	2,929	2.08

(注)割合は、平成30年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

## (5-5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1年生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
2年生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
3年生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
4年生	—	—	—	—	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
単位制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(注)割合は、平成30年4月1日現在の課程・学科・学年別中途退学者数に占める懲戒による退学者の割合

## (5-6) 課程・学科・学年別原級留置者数

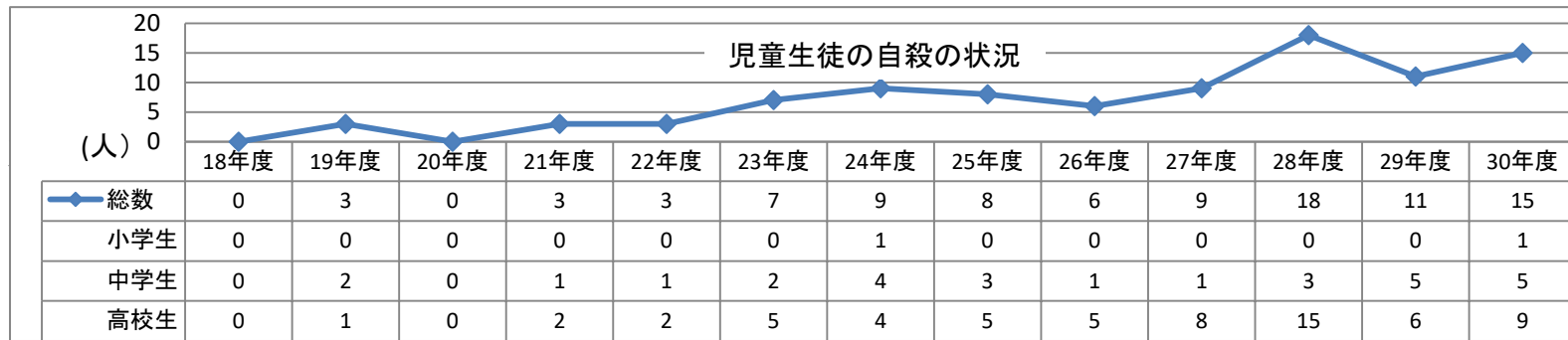
区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科							
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1年生	88	0.28	17	0.37	—	—	33	5.36	—	—	138	0.38
2年生	63	0.20	10	0.23	—	—	21	3.70	—	—	94	0.26
3年生	14	0.05	0	0.00	—	—	25	4.55	—	—	39	0.11
4年生	—	—	—	—	—	—	4	0.92	—	—	4	0.92
単位制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計	165	0.16	27	0.16	0	0.00	83	1.19	0	0.00	275	0.20

(注1)原級留置者とは、平成31年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、平成30年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

## 6 自殺の状況【公立小・中・高等学校】

### (6-1) 児童・生徒の自殺の状況



### (6-2) 自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校				合計	
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	4年生		計
男子	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	1	2	1	0	4	7
女子	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	1	2	2	0	5	8
計	0	0	0	0	0	1	1	2	1	2	5	2	4	3	0	9	15

### (6-3) 自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
家庭不和	0	0.0	1	20.0	0	0.0	1	6.7
父母等の叱責	0	0.0	3	60.0	1	11.1	4	26.7
学業等不振	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
進路問題	0	0.0	0	0.0	1	11.1	1	6.7
教職員との関係での悩み	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
いじめの問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
えん世	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
異性問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神障害	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	1	100.0	1	20.0	7	77.8	9	60.0
その他	0	0.0	1	20.0	1	11.1	2	13.3

(注1)複数回答を可とする。(注2)構成比は、各区分における自殺した児童・生徒数に対する割合

## 7 出席停止の状況【公立小・中学校】

### (7-1)出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
平成30年度	0	0	0

### (7-2)出席停止の学年別・男女別件数

区分	学年別件数											合計	
	小学校							中学校					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計		
平成30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分	男女別件数		
	小学校	中学校	計
男子	0	0	0
女子	0	0	0

### (7-3)出席停止の期間別件数

区分	1～3日	4～6日	7～13日	14～20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0

### (7-4)出席停止の理由別件数

区分	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)複数回答可

## 8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

### （8-1）県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育センター・教育研究所	2	23 (11.5)	42 (21.0)	65 (32.5)
教育相談所・相談室	6	22 (3.7)	120 (20.0)	142 (23.7)

(注1)( )内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2)「教育センター・教育研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注3)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

### （8-2）県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	SNS等を活用した相談	計
教育センター・教育研究所	2,136	6,959	77	0	68	9,240
教育相談所・相談室	3,646	1,544	135	10,333	41	15,699
計	5,782	8,503	212	10,333	109	24,939

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

### （8-3）県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育センター・教育研究所での来所教育相談件数(A)	568	401	216	951	2,136
教育相談所・相談室での来所相談件数(B)	2,149	1,102	346	49	3,646
来所教育相談総件数(AとBの合計)	2,717	1,503	562	1,000	5,782
うち、いじめに関する教育相談件数	9	10	1	12	32
うち、不登校に関する教育相談件数	571	665	204	835	2,275

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計	
教育相談件数	電話相談	1,915	1,925	2,066	2,597	8,503	
	訪問相談	99	91	19	3	212	
	巡回相談	6,617	3,716	0	0	10,333	
	SNS等を活用した相談	12	44	24	29	109	
内数	いじめに関する相談	電話相談	172	159	110	396	837
		訪問相談	0	0	0	0	0
		巡回相談	22	16	0	0	38
		SNS等を活用した相談	0	0	1	2	3
	不登校に関する相談	電話相談	254	400	435	392	1,481
		訪問相談	62	75	2	0	139
		巡回相談	1,145	1,855	0	0	3,000
		SNS等を活用した相談	0	13	5	3	21

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	39
---------	----

イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(人)	16	153	169
構成比(%)	9.5	90.5	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	0.5	4.6	5.1

ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	SNS等を活用した相談	計
件数(件)	10,850	7,475	3,097	1,501	118	23,041

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

## (8-6) 県・政令指定都市におけるスクールカウンセラーの活動日数別学校数

	小学校	中学校	高等学校	計
①常駐	0	0	0	0
②年間140日以上(常駐を除く)	0	0	0	0
③年間139日～105日	0	0	0	0
④年間104日～70日	24	110	1	135
⑤年間69日～35日	348	223	29	600
⑥年間34日～1日	417	80	155	652
⑦年間0日(配置実績なし)	67	2	0	69
計	856	415	185	1,456

(注1) スクールカウンセラーの雇用形態や配置計画に拠らず、実績を計上すること。活動日とは、スクールカウンセラーが学校へ出向くことをはじめ、児童生徒宅への家庭訪問等当該学校への相談業務等に従事した日を指すものとする。また、日数は、時間に拠らず、例えば午前中にA小学校、午後B中学校で相談業務に当たった場合、それぞれの学校で1日と考える。さらに、スクールカウンセラーが複数の者配置されている学校については、配置されている者全員の活動日の合計を計上すること、例えば同じ学校で同じ日に2人のスクールカウンセラーが相談業務に当たった場合、2日と考える。

(注2) 常駐とは、スクールカウンセラーが単独の者か複数の者かに寄らず、基本的に毎日、一人以上のスクールソーシャルワーカーが当該学校の相談業務等に従事していることを指す。

(注3) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上すること。

## (8-7) 県・政令指定都市におけるスクールソーシャルワーカーの活動日数別学校数

	中学校区	小学校	中学校	高等学校	計
①常駐	0	0	0	0	0
②年間168日以上(常駐を除く)	15	14	8	0	22
③年間167日～126日	6	3	3	0	6
④年間125日～84日	4	2	7	0	9
⑤年間83日～42日	40	27	22	18	67
⑥年間41日～1日	303	531	260	110	901
⑦年間0日(配置実績なし)	47	279	115	57	451
計	415	856	415	185	1,456

(注1) スクールソーシャルワーカーが単独の者か複数の者か、あるいは、雇用形態や配置計画に拠らず、実績を計上。

活動日とは、スクールソーシャルワーカーが学校へ出向くことをはじめ、児童生徒宅への家庭訪問等当該学校への相談業務等に従事したことを指すものとする。また、日数は、時間に拠らず、例えば午前中にA小学校、午後B中学校で相談業務に当たった場合、それぞれの学校で1日と数える。さらに、複数のスクールソーシャルワーカー業務に当たっている学校については、業務に当たっているスクールソーシャルワーカー全員の活動日の合計を計上。例えば同じ学校で同じ日に2人のスクールソーシャルワーカーが業務に当たった場合、2日と数える。

(注2) 中学校区とは、中学校別の通学区域であり、1つの中学校とその通学区域内のある複数の小学校を総称するものであるが、各中学校区におけるすべての学校で対応実績があるかどうかにかかわらず、当該中学校区でスクールソーシャルワーカーが活動した日数を計上する。また、中学校区数の区分については、中学校区ごとに1日の活動時間数に関係なく、活動した日数の合計を記入する。

(注3) 常駐とは、スクールソーシャルワーカーが単独の者か複数の者かに寄らず、基本的に毎日、一人以上のスクールソーシャルワーカーが当該学校の相談業務等に従事していることを指す。

(注4) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上すること。